

東京都南多摩保健医療圏 地域保健医療推進プラン 中間評価（案）

本プランは、圏域全体の保健医療を総合的に推進するための包括的な計画として位置付けられており、圏域各市の個別の取組を比較するものではない。

なお、圏域各市における各事業の取組は、各市の実情に応じて実施されており、その実施体制や方針等もそれぞれ異なるため、進行管理において、単純な横並びや比較ができるものでもない。

令和3年度

南多摩地域保健医療協議会

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 重点プラン・中間評価案一覧

整理番号	項目	重点プラン	指標	検証方法	評価
1	がん対策の推進	2 がんの早期発見の取組(科学的根拠に基づく検診・質の向上)	受診率・精密検査受診率の向上に向けた取組	充実する ▶受診率・精密検査受診率向上に向けた取組状況 ▶<参考>東京都精度管理評価事業の受診率・精密検査受診率(都への報告数値)	ほぼ順調
2	たばこ対策・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の予防	1 喫煙・受動喫煙の健康影響及びCOPDについての普及啓発の充実	禁煙・受動喫煙防止・COPDに関する普及啓発	充実する ▶たばこ対策キャンペーン等各種普及啓発の実施状況	ほぼ順調
3	生活習慣の改善	1 幅広い世代に向けた生活習慣病予防の推進	健康的な生活習慣や生活習慣病予防に関する普及啓発	充実する ▶各世代に対する生活習慣病予防に関する取組状況(健康づくり推進員活動、料理教室、体操教室、ウォーキングマップ作製等) ▶国民健康保険加入者の特定健診・特定保健指導受診率・終了者割合(法定報告数値)	ほぼ順調
4	食を通じた健康づくり	4 関係機関の連携による総合的な食育の推進	関係機関との連携・協働による食育活動	推進する ▶食育推進に係る関係機関との連携体制及び事業の実施状況(連携会議の開催、食育関係事業・イベントの実施、地域資源を活用した食育関係事業の実施、講習会の実施等)	ほぼ順調
5	自殺対策の推進	1 地域特性を踏まえたきめ細かな自殺対策の総合的な推進	自殺対策計画の策定及び計画を踏まえた総合的な自殺対策	推進する ▶自殺対策計画の策定状況 ▶自殺対策計画に基づく自殺対策事業の実施状況	ほぼ順調
6	母子保健の充実	1 切れ目のない子育て支援の充実	子育て世代包括支援センターの設置・運営	推進する ▶母子保健型、基本型、市町村保健センターなど、各市の実情に合わせた、子育て世代包括支援センターの設置状況 ▶(支援が必要な妊婦をもらさないための)妊婦面接の工夫や実施状況、支援プランの作成・評価実施の有無、関係機関連携のための工夫などの活動状況(子育て世代包括支援センターを設置している場合は、その活動状況を含む。)	ほぼ順調
7	歯と口腔の健康づくり	1 生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進	かかりつけ歯科医の普及啓発と機能の充実に向けた取組	推進する ▶かかりつけ歯科医の普及啓発と機能の充実を推進する事業の取組状況(歯科保健講演会・研修会、広報・イベントの実施状況、後期高齢者の歯科健診等)	ほぼ順調
8	様々な主体による健康づくり	2 住民主体の健康づくり活動の推進	地域における健康づくり推進員等活動・住民主体の介護予防活動及びその活動支援	推進する ▶健康づくり推進員等の活動状況、介護予防に係る活動状況及びその活動支援状況	ほぼ順調
9	高齢者への支援	2 認知症(若年性含む)の早期診断と地域生活の支援、地域資源を活用した見守りの推進	認知症の人や家族を支える体制	充実する ▶認知症初期集中支援チームの訪問実件数、延件数 ▶認知症サポーターの養成人数の実績 ▶認知症本人・家族への支援状況(認知症カフェの開催や既存のカフェへの支援状況、患者会・家族会の設置や既存の会への支援状況等) ▶<参考>都が行う認知症サポート医の養成人数の実績	ほぼ順調
10	障害者への支援	2 重症心身障害児(者)に対する災害時支援体制の整備の推進	災害時個別支援計画の作成	推進する ▶災害時個別支援計画作成の取組状況(各市が主体となり、保健所及び関係部署と連携し、個別支援計画の作成・更新を行う。)	ほぼ順調
11	難病患者への支援	1 在宅難病患者の療養支援の充実	難病の特性や病状に応じた療養生活の支援	充実する ▶在宅療養支援充実のための取組状況(家庭訪問、訪問リハビリ実施状況、関係機関を交えたカンファレンスの開催・参加状況等)	ほぼ順調
12	精神障害者への支援	1 非自発的入院患者の支援の充実	非自発的入院患者への個別支援	充実する ▶非自発的入院患者への支援のための取組状況(個別訪問、関係機関とのカンファレンスの開催等)	ほぼ順調
13	在宅療養の推進	2 在宅療養生活への円滑な移行の促進	在宅医療・介護連携相談窓口の運営及び医療・介護関係者間の情報共有・連携の支援	充実する ▶各市が設置(委託)している在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口の相談総数(電話相談、来所相談、その他の方法による相談の延件数) ▶医療・介護関係者間での情報共有や連携を支援する取組の状況	ほぼ順調
14	医療連携体制の推進	1(2) 地域における脳血管内治療の医療連携の推進	脳梗塞に対する脳血管内治療	推進する ▶脳卒中医療連携協議会における脳血管内治療推進の取組	ほぼ順調
15	医療連携体制の推進	2(3) 糖尿病医療連携体制の推進	「糖尿病地域連携の登録医療機関」制度の活用	推進する ▶糖尿病医療連携推進検討会における制度活用を推進する取組(医療機関、患者への普及啓発等)	ほぼ順調
16	健康危機管理体制の充実	2 新型インフルエンザ等感染症医療体制等の充実	新型インフルエンザ等感染症への対応力	強化する ▶南多摩保健医療圏感染症地域医療体制ブロック協議会の開催状況 ▶防護服着脱訓練や医療機関等との対応訓練、研修会の実施状況	ほぼ順調
17	食品の安全確保	3 事業者の自主衛生管理の取組の促進	食品関係事業者へのHACCPの普及	充実する ▶HACCPに関する普及啓発の取組状況(講習会、相談対応等)	やや遅れ
18	医薬品等の安全確保	3 健康サポート薬局推進のためのかかりつけ薬剤師・薬局の普及啓発	健康サポート薬局の普及に向けた支援	推進する ▶健康サポート薬局の届出数及び相談件数 ▶かかりつけ薬剤師・薬局普及のための支援状況	ほぼ順調
19	生活環境衛生対策の推進	2 公衆浴場等におけるレジオネラ症予防対策の徹底	公衆浴場、加温プール等におけるレジオネラ症予防対策	徹底する ▶公衆浴場、加温プール施設に対する立入検査・水質検査実施率 ▶公衆浴場、加温プール施設等におけるレジオネラ症予防対策指導状況	ほぼ順調
20	アレルギー対策の推進	1 アレルギーに関する情報提供及び普及啓発の充実	アレルギーに関する情報提供及び普及啓発	充実する ▶アレルギーに関する普及啓発等の取組状況(各種媒体による情報提供や各種講演などによる普及啓発等)	ほぼ順調
21	感染症の予防と対応	4 結核の感染拡大防止のための早期発見と治療終了支援	患者の背景に応じたDOTSの実施	推進する ▶DOTS治療完了率 =同年内治療終了(治癒・完了・1年以上の治療)者数 /〔同年内治療終了(治癒・完了・1年以上の治療)者数 +同年内脱落者数〕 *年内治療終了者及び脱落者数は暦年でカウント *死亡者、転出者除く *脱落者:医師が治療完遂を認める前に、2か月以上中断した者及び医師は治療完遂としたが、治療期間が不十分な者 ▶服薬完了に向けた支援の取組状況(若者世代や外国人、支援に工夫を要する方への取組等)	ほぼ順調
22	災害対策・救急医療の充実	2 災害医療連携体制の充実	災害対策訓練・研修会等を通じた災害医療連携体制の確保	推進する ▶関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 ▶医療連携体制強化のための取組(地域災害医療協議会等への参加、EMIS訓練等)	ほぼ順調
23	医療安全対策の推進	1 医療安全支援のための取組の推進	研修会、講習会等における情報共有	推進する ▶研修会、講習会等における住民、医療機関等との情報共有状況	ほぼ順調
24	人材育成研修等の充実	2 在宅療養を支える人材育成の充実	医療・介護関係者への研修	充実する ▶在宅医療・介護連携推進事業で行った医療・介護関係者向け研修・講演会等の実施状況	ほぼ順調

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 1 がん対策の推進	整理番号	1
重点プラン	がんの早期発見の取組(科学的根拠に基づく検診・質の向上)		
指標	受診率・精密検査受診率の向上に向けた取組 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況/達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルマーケティング手法を用いた個別勧奨通知の発送。自動音声・自動架電システムによる受診勧奨の実施 大腸がん検診・精密検査受診率向上事業において、成果報酬型官民連携モデル事業を導入(早期がん発見による医療費削減効果成果指標として、受診率達成度により成果報酬を支払う委託事業) 国の指針外である胃がんリスク検査、子宮頸がんHPV検査を検査検証事業として実施 新たにがん患者支援の視点盛り込んだ「がん対策推進計画(平成30～35年度)」を策定 健康フェスタにおいて、民間企業と連携したがん予防・がん検診の普及啓発を実施 女性の健康週間において、女優を招き、女性特有の疾患と健康をテーマに、講演会・イベントを開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルマーケティング手法を用いた個別勧奨通知の発送 成果報酬型官民連携モデル事業による(早期がん発見による医療費削減効果成果指標として、受診率達成度により成果報酬を支払う委託事業)大腸がん検診・精密検査受診率向上事業実施 国の指針外である胃がんリスク検査、子宮頸がんHPV検査を検査検証事業として実施 胃がん検診(内視鏡検査)の対象を拡大(50～68歳⇒50～74歳) イベント等において各種普及啓発を実施(健康フェスタ、ピンクリボンキャンペーンと合わせたキャンペーンの実施、ババママクラス参加者、3歳児健診受診案内時、出前講座等) 看護学部を置く市内大学において同学生生を対象に、産婦人科医を招き、婦人科系疾患の正しい知識、予防の重要性を伝える講座「未来つなげるいのちのために～私が私のためにできること」を実施。これからのライフステージにおいて、がん検診をはじめとした健康づくりに主体的に取組む意識を醸成 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 国が基礎自治体に対し示している死亡率減少を達成するためのプロセス指標、基準値と、本市における実績値の比較 既存事業を活用し、がん検診受診について普及啓発を充実させた。 がん検診受診率・精密検査受診率向上に向けて、市民の意識向上のために普及啓発に取り組んだ
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 成人健診の受診券に、当該年度に受診できるがん検診及び自己負担額を表示 精密検査を実施した医療機関から医師会を通して市へ報告される体制を整備(医療機関向けの受託事業説明会の際に、精密検査を実施した医療機関は必ず検査結果を提出するよう重点的に説明。結果報告がない場合は医療機関に個別に問合せ)等 	<ul style="list-style-type: none"> 成人健診の受診券にがん検診の対象者を表示 精密検査を実施した医療機関から医師会を通して市へ報告される体制を整備(医療機関向けの受託事業説明会の際に、精密検査を実施した医療機関は必ず検査結果を提出するよう重点的に説明。結果報告がない場合は医療機関に個別に問合せ)等 	ほぼ順調	精密検査結果報告体制の見直しにより、精密検査受診率が大幅に改善し、全て許容値を満たしている。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診にて、乳がんモデル触診体験の実施及び乳がん・子宮頸がん検診案内の配布 40歳を対象とした5大がん検診無料制度実施(はじめましてがん検診案内送付) 胃・肺・大腸がん検診同時受診及び土日受診可能な環境整備 精密検査未受診者について追跡調査及び受診勧奨 等 	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター、商工会にがん検診についての周知啓発 子ども家庭支援センターでの乳房自己触診講座の実施 40歳を対象とした5大がん検診無料制度実施(はじめましてがん検診案内送付) 胃・肺・大腸がん検診同時受診及び土日受診可能な環境整備 精密検査未受診者について追跡調査及び受診勧奨 等 	ほぼ順調	がんについての周知、啓発の場をひろげたが、受診率の伸びは年度末のコロナ禍の中の伸びはなく、精密検査対象者も含めて受診を控える傾向にあった
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 29年度より胃がん検診に内視鏡検査を導入 乳がん検診の視触診を廃止、40歳から49歳の方の自己負担額を減額 ピンクリボン月間にあわせたポケットティッシュ等の配布、女性の健康週間にあわせたリーフレットの配布 等 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市では、がん検診(バリウム検査、内視鏡検査)、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診を実施 平成30年度より40代以上の乳がん検診自己負担額を2,000円から1,500円に引き下げ、全世代で同一の自己負担額とすることで、より受診しやすい体制を整えた。(平成29年度に2,500円から2,000円に引き下げ) 10月のピンクリボン月間にあわせたポケットティッシュ等の配布、女性の健康習慣にあわせたリーフレットの配布 広報によるピンクリボン月間、女性の健康習慣の周知 女性のための健康栄養相談の実施 対象者へ再勧奨通知の発送 	順調	対象者への再勧奨通知の発送。受診率はほぼ昨年と同じ。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 勧奨通知・再勧奨通知の発送 乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券発行 要精密検査者への要精密検査の受診率向上とがん検診精度管理のための運用として、精密検査を実施する医療機関から市へ直接ご報告いただくことでの「がん検診精度管理」を開始(平成30年度～) 	<ul style="list-style-type: none"> 勧奨通知・再勧奨通知の発送 乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券発行 要精密検査者への要精密検査の受診率向上とがん検診精度管理のための運用として、精密検査を実施する医療機関から市へ直接ご報告いただくことでの「がん検診精度管理」を開始(平成30年度～) 	ほぼ順調	各種がん検診受診率及び精密検査受診率の実績値

指標に係る実績データ

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)																																																																																			
実績値	<p>平成28年度 がん検診受診率(%)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>胃</th><th>肺</th><th>大腸</th><th>子宮</th><th>乳</th></tr> <tr><td>八王子市</td><td>6.3</td><td>10.8</td><td>26.2</td><td>21.7</td><td>22.1</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>-</td><td>-</td><td>14.2</td><td>17.8</td><td>15.6</td></tr> <tr><td>日野市</td><td>5.8</td><td>3.0</td><td>37.3</td><td>16.0</td><td>21.6</td></tr> <tr><td>多摩市</td><td>5.5</td><td>1.9</td><td>40.2</td><td>27.7</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>稲城市</td><td>3.5</td><td>-</td><td>25.2</td><td>8.0</td><td>16.9</td></tr> </table>		胃	肺	大腸	子宮	乳	八王子市	6.3	10.8	26.2	21.7	22.1	町田市	-	-	14.2	17.8	15.6	日野市	5.8	3.0	37.3	16.0	21.6	多摩市	5.5	1.9	40.2	27.7	24.0	稲城市	3.5	-	25.2	8.0	16.9	<p>平成30年度 がん検診受診率(%)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>胃</th><th>肺</th><th>大腸</th><th>子宮</th><th>乳</th></tr> <tr><td>八王子市</td><td>9.1</td><td>10.9</td><td>25.5</td><td>20.5</td><td>20.3</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>-</td><td>-</td><td>14.1</td><td>16.9</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>日野市</td><td>5.9</td><td>3.5</td><td>29.7</td><td>13.4</td><td>18.4</td></tr> <tr><td>多摩市</td><td>7.0</td><td>1.4</td><td>38.6</td><td>26.6</td><td>24.1</td></tr> <tr><td>稲城市</td><td>3.0</td><td>-</td><td>24.7</td><td>8.1</td><td>16.0</td></tr> </table>		胃	肺	大腸	子宮	乳	八王子市	9.1	10.9	25.5	20.5	20.3	町田市	-	-	14.1	16.9	17.5	日野市	5.9	3.5	29.7	13.4	18.4	多摩市	7.0	1.4	38.6	26.6	24.1	稲城市	3.0	-	24.7	8.1	16.0											
		胃	肺	大腸	子宮	乳																																																																															
	八王子市	6.3	10.8	26.2	21.7	22.1																																																																															
	町田市	-	-	14.2	17.8	15.6																																																																															
日野市	5.8	3.0	37.3	16.0	21.6																																																																																
多摩市	5.5	1.9	40.2	27.7	24.0																																																																																
稲城市	3.5	-	25.2	8.0	16.9																																																																																
	胃	肺	大腸	子宮	乳																																																																																
八王子市	9.1	10.9	25.5	20.5	20.3																																																																																
町田市	-	-	14.1	16.9	17.5																																																																																
日野市	5.9	3.5	29.7	13.4	18.4																																																																																
多摩市	7.0	1.4	38.6	26.6	24.1																																																																																
稲城市	3.0	-	24.7	8.1	16.0																																																																																
実績値	<p>平成28年度 精密検査受診率(%)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>胃</th><th>肺</th><th>大腸</th><th>子宮</th><th>乳</th></tr> <tr><td>八王子市</td><td>97.8</td><td>97.4</td><td>79.4</td><td>97.0</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>-</td><td>-</td><td>75.7</td><td>65.2</td><td>84.9</td></tr> <tr><td>日野市</td><td>87.3</td><td>86.4</td><td>52.5</td><td>90.9</td><td>96.6</td></tr> <tr><td>多摩市</td><td>90.1</td><td>90.0</td><td>61.0</td><td>75.9</td><td>89.5</td></tr> <tr><td>稲城市</td><td>76.0</td><td>-</td><td>47.7</td><td>87.5</td><td>71.8</td></tr> </table>		胃	肺	大腸	子宮	乳	八王子市	97.8	97.4	79.4	97.0	98.1	町田市	-	-	75.7	65.2	84.9	日野市	87.3	86.4	52.5	90.9	96.6	多摩市	90.1	90.0	61.0	75.9	89.5	稲城市	76.0	-	47.7	87.5	71.8	<p>平成30年度 精密検査受診率(%)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>胃</th><th>肺</th><th>大腸</th><th>子宮</th><th>乳</th></tr> <tr><th></th><th>エックス線</th><th>内視鏡</th><th></th><th></th><th></th></tr> <tr><td>八王子市</td><td>91.9</td><td>100</td><td>98.6</td><td>78.3</td><td>96.4</td><td>97.7</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>80.8</td><td>82.9</td><td>87.2</td></tr> <tr><td>日野市</td><td>90.3</td><td>-</td><td>92.0</td><td>59.1</td><td>91.8</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>多摩市</td><td>86.4</td><td>100</td><td>95.8</td><td>58.9</td><td>86.3</td><td>92.1</td></tr> <tr><td>稲城市</td><td>92.6</td><td>-</td><td>-</td><td>67.2</td><td>100</td><td>87.5</td></tr> </table>		胃	肺	大腸	子宮	乳		エックス線	内視鏡				八王子市	91.9	100	98.6	78.3	96.4	97.7	町田市	-	-	-	80.8	82.9	87.2	日野市	90.3	-	92.0	59.1	91.8	95.7	多摩市	86.4	100	95.8	58.9	86.3	92.1	稲城市	92.6	-	-	67.2	100	87.5
		胃	肺	大腸	子宮	乳																																																																															
	八王子市	97.8	97.4	79.4	97.0	98.1																																																																															
	町田市	-	-	75.7	65.2	84.9																																																																															
日野市	87.3	86.4	52.5	90.9	96.6																																																																																
多摩市	90.1	90.0	61.0	75.9	89.5																																																																																
稲城市	76.0	-	47.7	87.5	71.8																																																																																
	胃	肺	大腸	子宮	乳																																																																																
	エックス線	内視鏡																																																																																			
八王子市	91.9	100	98.6	78.3	96.4	97.7																																																																															
町田市	-	-	-	80.8	82.9	87.2																																																																															
日野市	90.3	-	92.0	59.1	91.8	95.7																																																																															
多摩市	86.4	100	95.8	58.9	86.3	92.1																																																																															
稲城市	92.6	-	-	67.2	100	87.5																																																																															

課題・今後の方針/圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での一時的な受診者減が見込まれ、プロセス指標への影響が懸念される。例年同様、受診勧奨ハガキの送付等により、多くの対象者を受診へつなげるよう取り組む。 一方で、新たな知見が得られるよう検診データとがん登録情報を照合を行い、さらなる精度管理向上に努める。 引き続き、がん検診受診率・精密検査受診率向上に向けた普及啓発に取り組む。(以上、八王子市) がん検診の受診率が減少傾向にあるため、受診勧奨方法の検討が求められる。今後は、各がん検診の受診勧奨結果を分析し、LINE等の新たな媒体を活用した、より効果的かつ効率的な方法を検討していくとともに、成人健康診査との同時受診の促進を進めて受診率の向上を図る。(町田市) 精検受診率が下がっているものが多々あるので、受診の勧奨に力を入れる。(多摩市) 『東京都包括補助事業』を活用し、引き続き受診率及び精密検査受診率の向上に向け事業を実施する。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 2 たばこ対策・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の予防	整理番号	2
重点プラン	喫煙・受動喫煙の健康影響及びCOPDについての普及啓発の充実		
指標	禁煙・受動喫煙防止・COPDに関する普及啓発 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況/達成度・評価の視点

▶たばこ対策キャンペーン等各種普及啓発の実施状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子まつり等のイベントにて喫煙マナーアップキャンペーンを計10回実施し、啓発資材を配布 ・市内の喫煙スポットにおいて、煙の拡散防止のための設備改善(パーティションの新増設・植栽新設)を実施 ・青少年育成指導員が、地区内の子供の溜まり場やお祭り会場などの人が集まる場所等を重点的に巡回 ・子ども若者サポート事業において、八王子少年センターの協力のもと、JR八王子駅周辺のパトロールを実施 ・肺がん検診の結果説明の際、禁煙外来受診勧奨リーフレット及び市内禁煙外来医療機関マップを医師より説明、手渡し ・乳幼児健診アンケートに、家族の喫煙者を記載する欄を設け、喫煙者がいる場合は、副流煙の影響や分煙について説明等 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙マナーアップキャンペーンを計6回実施し、啓発資材を配布 ・市内10か所の喫煙スポット・喫煙スペースにおいて、煙を拡散を防止するパーティションの増設・新規設置工事を実施 ・健康フェスタやパパママクラスの参加者等のイベントや講座を通じて喫煙、受動喫煙における健康影響についての普及啓発を行った。 ・青少年育成指導員が、子供の溜まり場やお祭り会場などの人が集まる場所等を年間を通して巡回した。 ・子ども若者サポート事業において、八王子少年センターの協力のもと、JR八王子駅周辺のパトロールを年2回実施した。 ・乳幼児健診アンケートに家族の喫煙者を記載する欄を設け、喫煙者がいれば、家庭内での分煙の必要性を伝え、副流煙の影響については口頭で説明している。 ・施設館内にポスターを掲示し、たばこ健康に関する正しい知識を普及啓発 ・個別の健康相談等で、禁煙についての保健指導を実施したり、禁煙外来を紹介 ・肺がん検診の結果説明の際、喫煙者に対し、禁煙外来受診を勧めるリーフレット、市内禁煙外来医療機関マップを医師より説明・手渡し、禁煙希望者を禁煙に結びつける。 ・学校においては敷地内全面禁煙を原則としており、さらに東京都受動喫煙防止条例の公布に伴い、特定屋外喫煙場所を設けないよう指導し、受動喫煙防止対策の推進を図った。 	ほぼ順調	喫煙・受動喫煙の健康影響についての普及啓発を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「受動喫煙防止キャンペーン」「世界禁煙デー」等に係る横断幕(町田駅前)及び懸垂幕(市庁舎)を掲示 ・市内中学校・大学において、民間企業を講師とした防煙教育を実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界禁煙デー」等に係る懸垂幕(市庁舎)を掲示 ・市内中学校・大学において、民間企業を講師とした防煙教育を実施 ・保健所情報紙や市の広報誌に受動喫煙対策の記事を定期的に掲載 ・市内全飲食店へ、東京都受動喫煙防止条例全面施行に向けたチラシ等配布等 	順調	法律及び条例の全面施行に合わせ、市民や事業者へ向けた周知啓発の取組みを新たに開始した。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> ・両親学級において、喫煙・受動喫煙の害について啓発 ・妊娠届出時、妊婦又はパートナーが喫煙者の場合、個別に喫煙・受動喫煙の害について啓発 ・乳幼児健診の間診アンケートに、保護者の喫煙に係る項目を設け、喫煙者に対しては、喫煙・受動喫煙の害について啓発等 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の集団健診(検診)にて、喫煙者に対し禁煙に関する情報提供の実施 ・両親学級において、喫煙・受動喫煙の害について啓発 ・妊娠届出時、妊婦又はパートナーが喫煙者の場合、個別に喫煙・受動喫煙の害について啓発 ・乳幼児健診の間診アンケートに、保護者の喫煙に係る項目を設け、喫煙者に対しては、喫煙・受動喫煙の害について啓発等 	ほぼ順調	これまでの妊婦・乳幼児の保護者など、受動喫煙を受ける対象者をメインとした啓発に加え、成人の集団健診において喫煙者に対する直接的な介入を開始し啓発の場をを広げ、禁煙治療の紹介など具体的な教育が実施できた。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの環境美化を目的とした「まち美化キャンペーン」を年2回開催し、啓発資材を配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止シンポジウムの開催(令和元年7月27日) ・多摩市禁煙治療費助成事業の開始 ・多摩市受動喫煙防止条例の周知啓発として、看板や路面シート等を市内の各所に設置 ・「まち美化キャンペーン(春と秋の2回でそれぞれ4日間)」に参加し、啓発資材を配布 	順調	まち美化キャンペーンでの普及啓発の取り組みに加え、多様な手法により、受動喫煙による健康影響や条例の普及啓発に取り組んだ。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> ・市保健センター施設内でCOPDに関する啓発物を配架 ・市ホームページにて「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の記事を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・市保健センター施設内に受動喫煙防止対策、COPD等に関する啓発物を配架 ・市ホームページ及び広報紙に、令和2年4月1日から喫煙に関するルールが変更になる旨を周知する記事の掲載を行った。 	ほぼ順調	普及啓発の取り組みが適切に行われている。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーにおける、駅頭でのたばこ対策キャンペーンの実施 ・禁煙週間に合わせた普及啓発の実施(懸垂幕、ポスター、コミュニティバス、ケーブルテレビ、リーフレット等)等 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーにおけるたばこ対策キャンペーン実施、禁煙週間における普及啓発の実施のほか、改正健康増進法・受動喫煙防止条例の段階的施行にあたり対象者1名にむけて普及啓発を実施した(個別送付、講習会でのチラシ送付、健康情報誌やHP掲載など) 	ほぼ順調	たばこ対策キャンペーンでの普及啓発の取り組みのほか、法・条例施行の普及啓発においては新たな方法で取り組んだ。

課題・今後の方針/圏域の達成度(自己評価の平均)

課題 ・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年(2020年)4月1日の健康増進法改正及び東京都受動喫煙防止条例施行を受け、検診時に渡す禁煙外来受診勧奨リーフレットを、法改正等の内容を踏まえたものに改定し、新たな角度から禁煙につながる働きかけを進める。 ・子ども若者サポート事業におけるJR八王子駅周辺のパトロールは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度中止予定。また、子ども若者サポート事業は、令和2年度をもって事業を終了するため、パトロールも終了する。(以上八王子市) ・喫煙マナー全般(路上喫煙やベランダでの喫煙等)の周知啓発が必要⇒引き続き広報紙等で啓発していく。 ・法令違反店への積極的な働きかけが必要⇒繰り返しの周知啓発をしていく。(以上町田市) ・健診(検診)という健康意識が高まったタイミングで、喫煙者にダイレクトな意識づけが行えた。喫煙者本人と、受動喫煙を受ける側双方に対して、情報提供・健康教育を通じた禁煙の機会提供を行っていく必要がある。(日野市) ・令和元年度は、条例が施行があり、条例内容の周知に力を入れて取り組んでいたため、今後は、受動喫煙による健康影響の普及啓発にも力を入れて取り組む(多摩市) ・喫煙に対する規制については、社会情勢の変化とともに、今後も内容について見直しが進められるものと捉えており、引き続き周知・啓発に取り組んでまいります。(稲城市) ・法・条例の全面施行における普及啓発をさらに充実させる。 ・健康被害(COPDなど)を防止する観点からの普及啓発に取り組む(南多摩)
達成度 (自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 3 生活習慣の改善	整理番号	3
重点プラン	幅広い世代に向けた生活習慣病予防の推進		
指標	健康的な生活習慣や生活習慣病予防に関する普及啓発 → 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶各世代に対する生活習慣病予防に関する取組状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率は近年横ばいの状況。29年度は、受診率向上事業として、通知・電話(自動音声)による受診勧奨を実施 特定保健指導実施率は近年26市中では上位を維持。利用特典として、骨密度測定会、運動教室を実施。年度途中からは利用勧奨通知を封書から圧着はがきとし、強めのメッセージを送付 プレハバママ料理教室、離乳食講習会等で、バランスの取れた食生活に関する知識を保護者に発信 八王子けんこう体操の普及啓発、ウォーキングマップの改訂、健康づくりサポーターの養成と活動支援 等 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率は前年度に比べ0.1%減少した。 特定健診受診率向上事業として、継続未受診者の節目年齢(5歳ごと)をターゲットに通知勧奨を実施した。 特定保健指導は、委託している積極的支援にて会場面接に加え、ICT面談も実施し、より利用しやすいようにした。 健康づくりサポーター事業を実施 いちよう祭り等のイベントを通じてウォーキングマップを配布し、普及啓発を行った。 バランスの取れた食生活に関する情報を発信するため、離乳食講習会やプレハバママ料理教室等を実施した。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診勧奨では新たな視点から事業を実施した。 地域で健康づくりを推進する健康づくりサポーターを養成・支援したほか、イベント等を通じてウォーキングマップを配布し、普及啓発を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 未受診者への受診勧奨について、29年度から、対象者を過去の受診歴等により分類し、デザイン・メッセージを変えて実施 29年度から、委託業者による電話から自動音声電話へ勧奨方法を変更し、就業者が応答しやすい土日祝日に重点的に架電実施 特定保健指導の初回面談について、タブレット端末等を活用した遠隔型面談を新たに導入 未利用者に対し、再勧奨を兼ねたセミナー付きの初回面談を実施 市民を対象に、栄養士・歯科衛生士・保健師が地域の会場に出向き、健康に関するミニ講座を開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> 未受診者への通知による受診勧奨について、対象者を過去の受診歴等により分類し、デザイン・メッセージを変えて実施 未受診者への電話による受診勧奨について、自動音声による架電を就業者が応答しやすい土日祝日に重点的に実施 30年度から、未受診者に対しSMS(ショートメール)による受診勧奨を実施 特定保健指導の初回面談について、タブレット端末等を活用した遠隔型面談を実施 未利用者に対し、再勧奨を兼ねたセミナー付きの初回面談を実施 【歯科】 歯科衛生士が地域の会場に出向き、健康に関するミニ講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉センター:6回 高齢者住宅:1回 健康推進員連絡会:5回 【健康づくり推進員】 <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動(町トレ、ウォーキング、料理教室、スポーツ吹き矢、手作り味噌講座、ボール体操等) 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 歯科と健康づくり推進員で該当があり、多くのミニ講座を行うことが出来た。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の未受診者を対象に、生活・保健センターで集団健診を実施 市内3箇所で、個別面接又はグループ面接形式で特定保健指導を実施 健康づくり推進員によるウォーキング・室内体操の実施、ウォーキングマップの作製 等 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の未受診者を対象に、生活・保健センターで集団健診を実施、受診者のうち、血圧値が特定保健指導値であった方へ、同日、保健指導初回面談を実施した(昨年度までは、面談は実施せず、保健指導予約のみ受付) 市内3箇所で、個別面接又はグループ面接形式で特定保健指導を実施 健康づくり推進員によるウォーキング・室内体操の実施、ウォーキングマップの作製 等 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン値と比べて横ばいであり、ほぼ例年通りの受診率と特定保健指導の終了率といえる。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市ウォーキングマップを3種類作製し発表会を開催、各コース別の完歩カードの作製 健康づくり推進員による月例ウォーキングの実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員による月齢ウォーキングの実施 多摩市ウォーキングマップを利用した地区活動等 コミュニティセンター祭り(骨密度測定)等、地域への参加 生活習慣病予防講座の開催 出張教育の充実 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 出張教育を重点とし、口腔ケア、食育、健康講話、骨密度測定などを行い、生活習慣病の予防などに関する正しい知識の普及が図られている。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防教室、女性のための健康セミナー、健康な食事づくり推進員講習会等の開催 広報紙・ホームページのほか、市役所内行政情報モニターや市内循環バスにおいて受診勧奨を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防教室、女性のための健康セミナー、健康な食事づくり推進員講習会等の開催。 広報紙・ホームページのほか、市内循環バスにおいて受診勧奨を実施。未受診者への受診勧奨ハガキを送付。 	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査追加実施(2月)の廃止による受診者数の減少。

指標に係る実績データ

▶国民健康保険加入者の特定健診・特定保健指導受診率・終了者割合(法定報告数値)				
実績値	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)		令和2年3月31日現在(元年度)	
	平成29年度		令和元年度	
	特定健診受診率(%)	特定保健指導終了者の割合(%)	特定健診受診率(%)	特定保健指導終了者の割合(%)
八王子市	46.1	25.1	45.1	27.7
町田市	45.2	7.7	45.0	9.4
日野市	48.0	21.7	46.4	18.8
多摩市	47.5	15.7	54.2	12.4
稲城市	54.4	14.0	49.8	8.7

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診については受診率が横ばいの状況である。特に受診率の低い若年層への受診勧奨を実施していく。 引き続き、健康づくりサポーター事業を継続するほか、イベント等を通じてウォーキングマップを配布する。(以上八王子市) 特定健康診査受診率の向上に向けた取り組みが必要 他自治体の実施体制などを参考に、受診券の発送時期等の見直しを行う 新型コロナウイルス感染症の影響で講座開催が難しいため、市民の要望を踏まえながらやり方を検討する必要がある。(以上町田市) 例年通りの結果となっているが、今後は生活習慣病やその他疾患の早期発見のために、受診率向上に力を入れたい。そのために、受診の必要性についての啓発方法を工夫していく。また、令和元年度よりコロナウイルスの影響もあり、健康づくり推進員活動も含め各事業の休止が続いているので、今後の安全な活動再開にむけ企画していく。(日野市) 壮年期からの健康の保持増進に役立てる事業の充実。(多摩市) 特定健康診査の受診につながるよう、周知・広報の内容を見直していく。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 <u>ほぼ順調</u> やや遅れている 遅れている 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 4 食を通じた健康づくり	整理番号	4
重点プラン	関係機関の連携による総合的な食育の推進		
指標	関係機関との連携・協働による食育活動 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 健康フェスタと食育フェスタを合同で開催し、食育の体験ができるイベントを実施 第2期八王子市食育推進計画の進捗管理及び食育関係団体の相互連携等の推進のため、八王子市食育推進会議を開催 給食施設における「食育事例集」を作成・配布 毎月、野菜を一番多く使用する給食の日に、「しっかり食べよう野菜350」の食育メモを配布(一日に必要な野菜の量を知らせ、野菜をしっかり食べることが健康長寿の秘訣であることを普及啓発) 各小学校で夏休み親子料理教室を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康フェスタ・食育フェスタを開催し、食育の体験ができるイベントを通して食育の大切さを周知啓発。 第2期八王子市食育推進計画の進捗管理及び第3期八王子市八王子市食育推進計画の策定、食育活動に関わる各団体の相互の連携等を推進するため八王子市食育推進会議を開催。 飲食店等と連携して「はちおうじ健康応援店」事業を実施。 市民食育講座を開催し、広く市民に向けて食育の大切さを周知啓発。 各小学校で三期休業期間を利用して、健康的な生活への実践力を育てるために親子料理教室を実施した。 特定給食施設栄養管理講習会を7回、情報交換会を1回開催 「栄養・衛生情報」を年5回発行した。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 「はちおうじ健康応援店」の実施、食育推進会議の開催、市民食育講座、健康フェスタ・食育フェスタを通して、様々な関係機関と連携して食育の普及啓発に取り組んだ。 給食室を新たに活用する等して、実施内容のさらなる充実を図った。また教室への参加人数が増加した。(参加人数1,756名(前年度1,711名)、前年度から45名増) 学校や事業所等、健康な成人向けの食事を提供する施設(一般飲食店を含む)に向けて情報の発信を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 町田市食育推進計画推進委員会及び町田市食育推進庁内連絡会を実施し、市の食育推進事業について検証 食育ツーリズムの推進(食や生産者に触れる機会を増やすことで、食育に関心を持つことや、食に対する感謝の心を育むことを目的とした、農業と商業の協働による取組) 食育ボランティアによる共食の普及啓発 等 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会及び連絡会を実施し、関係各部署ではそれぞれの役割を理解し、相互に連携・協働し、食育推進連携事業について検証・実施できた。 食育ツーリズムは、予定通り2回実施できた。 食育ボランティアは、調理実習を通じて共食の普及啓発を実施できた。 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 予定通り、関係機関との連携・協働により、より充実した食育活動を推進することが出来た。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 「日野市みんなですすめる食育条例」に基づき、食育推進会議を開催し、市の食育推進事業の評価検証を実施 野菜(食育)キャラクター及びベジ活350(第3期計画キャッチフレーズ)のロゴマークを作成し、関係機関にデータ配布 等 	<ul style="list-style-type: none"> 「日野市みんなですすめる食育条例」に基づき、食育推進会議を開催し、市の食育推進事業の評価検証を実施した。 野菜(食育)キャラクター及びベジ活350(第3期計画キャッチフレーズ)のロゴマークを作成し、イベントでのチラシの配布のほか、広報、パネル展示などの周知啓発を行った。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 「ベジ活350(野菜の摂取)」を中心に、イベントでのチラシの配布のほか、広報、パネル展示等、新たな方法で食育の周知啓発に取り組むことができた。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 食育応援隊の実施(自主的に食育の講話や調理実習を実施している市民団体に対し、管理栄養士・栄養士を派遣) 市内で行われるイベント等に食育コーナーを設け、管理栄養士・栄養士が食育に関する情報発信等普及啓発を実施 体験農業の実施(子供を対象に、農作物の作付けから収穫までの農業体験と収穫交流会を実施) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 第3次多摩市食育推進計画に基づく庁内連絡会、多摩市食育ネットワーク推進連絡協議会(有識者、食育にかかる地域活動者、農業関係者等)、たま食育フェスタ実行委員会(市民向け食育イベントに向けた協議会)等の開催・参加により、庁内外の関係者と連携して食育事業を推進。 食育応援隊の実施(自主的に食育の講話や調理実習を実施している市民団体に対し、管理栄養士・栄養士を派遣) 市内で行われるイベント等に食育コーナーを設け、管理栄養士・栄養士が食育に関する情報発信・普及啓発を実施(2020たま食育フェスタ、つむぎ館まつり) 野菜ファーストの方法や市内の野菜メニュー店を紹介した野菜ファーストリーフレットの作成・配布 体験農業の実施 図書館と連携した食育に関する企画展示の実施 食育講演会の実施 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 重点PR項目に沿った内容で、周知・啓発活動等を行った。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 稲城ふれあい保健・医療まつりで地域の食育活動をPR 食生活改善普及運動月間に地域の食育活動のPR(ポスター掲示)を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> 稲城ふれあい保健・医療まつりで地域の食育活動をPR 食生活改善普及運動月間に地域の食育活動のPR(ポスター掲示)を実施 等 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 庁内各課が連携し、様々な施策を展開することにより、市民の食育活動の推進が図られている。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 野菜メニュー店普及促進事業の実施 食育シンポジウムの実施 管内3市及び圏域3保健所栄養業務連絡会における連携 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市のイベント、ホームページ、ミニバス車内へのポスター掲示等を通じた野菜メニュー店の普及や野菜摂取量の増加に向けた啓発を行った。また、管内3市及び圏域3保健所と食育に関する取組状況等の情報を共有し、必要に応じて連携した。令和元年度の食育シンポジウムについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、次年度に延期した。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、管内3市及び圏域3保健所で連携して食を通じた健康づくりについて普及啓発等を実施した。 講習会についても、特定給食施設や食育関係者のニーズや社会情勢を考慮し、対象に見合う内容で実施した。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、様々な関係機関と連携して食育の普及啓発に取り組む 全校で料理教室を実施できるよう取り組む。調理実習が実施できない場合であっても、講話のみの食育教室を行うよう学校へ働きかける。 新型コロナウイルス感染症により、集合形式の講習会が開催が困難であるので、ホームページ等を有効に利用し、周知を図る。(以上八王子市) 【食育ツーリズム】地産地消をさらに広める必要がある、別の機関との連携・協働について実施方法や内容を検討していく。(町田市) 健全な食生活の実践のため、「ベジ活350(野菜の摂取)」にとどまらず、食生活全般について普及啓発を行う。(日野市) 令和2年度は「第3次多摩市食育推進計画」の折り返しを迎えるため、計画内容の評価や次計画に向けた準備を進める必要がある。(多摩市) 今後も引き続き、第3次稲城市食育推進計画に基づいた施策を着実かつ積極的に推進する。(稲城市) 今後も引き続き管内3市及び圏域3保健所で連携して食を通じた健康づくりについて啓発を行い、住民の意識と行動の変容に寄与したいが、新型コロナウイルス感染予防対策として大規模イベント等の開催が見送られているため、安全かつ効果的に普及啓発が行えるよう工夫したい。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	<p>順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要</p>

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 5 自殺対策の推進	整理番号	5
重点プラン	地域特性を踏まえたきめ細かな自殺対策の総合的な推進		
指標	自殺対策計画の策定及び計画を踏まえた総合的な自殺対策 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶自殺対策計画の策定状況		【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	平成31年3月策定予定		平成31年3月策定		
町田市	平成31年3月策定予定		平成31年3月策定		
日野市	平成27年3月策定・平成31年3月改定予定		平成31年3月改定		
多摩市	平成31年3月策定予定		平成31年3月策定		
稲城市	平成31年度策定予定		令和2年3月策定		
▶自殺対策計画に基づく自殺対策事業の実施状況					
		【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 明星大学デザイン学部との普及啓発看板の作成等、9月・3月の普及啓発月間での普及啓発の実施 身近なゲートキーパー養成研修の実施 八王子市自殺対策庁内連絡会、職員向け研修等の実施 等 		<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より、自殺未遂者対策として、自殺未遂者支援会議を開催 市役所管理職向け研修実施 	ほぼ順調	計画に沿って未遂者対策を推進していくために、未遂者支援会議を立ち上げ、市内救急医療機関と精神科医療機関等と課題の共有を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向けた取組(町田市自殺対策推進協議会、町田市自殺対策推進庁内連絡会、市民意見募集) ゲートキーパー養成に関する事業の実施 自殺対策強化月間における取組(総合相談会、鉄道事業者等との協働した広報) 等 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向けた取組(町田市自殺対策推進協議会、町田市自殺対策推進庁内連絡会、市民意見募集) ゲートキーパー養成に関する事業の実施 自殺対策強化月間における取組(総合相談会、鉄道事業者等との協働した広報) グーグル検索対応事業 	順調	計画策定を通して、地域と連携した自殺対策の強化を図っている。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校全生徒に「中学生向け相談先カード」を作成・配布し、悩みを抱えた際に相談できる窓口を周知 中学生、保護者及び教職員等を対象に、命の大切さや心の健康に関する講演会と展示会「いのちの学校」を実施 市役所及び市内図書館等で自殺対策強化月間における「キャンペーン」を実施し、相談窓口に関するリーフレット等を設置 自死遺族等支援事業「わかち合いの会」を多摩市と連携して開催 自殺対策事業を推進するため、「日野市自殺総合対策推進委員会」を開催 等 		<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校全生徒に「中学生向け相談先カード」を作成・配布し、悩みを抱えた際に相談できる窓口を周知 中学生、保護者及び教職員等を対象に、命の大切さや心の健康に関する講演会と展示会「いのちの学校」を実施 市役所及び市内図書館等で自殺対策強化月間における「キャンペーン」を実施し、相談窓口に関するリーフレット等を設置 自死遺族等支援事業「わかち合いの会」を多摩市と連携して開催 自殺対策事業を推進するため、「日野市自殺総合対策推進委員会」を開催 支援者支援の講座を開催 等 	ほぼ順調	予算の問題などで、計画の実施が難しい状況を他課との連携や協力を得ながら、事業を実施している。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 未遂者向け普及啓発事業として、救急搬送を行う病院に、相談先を記載したチラシの設置を依頼(設置機関3箇所) 自殺対策庁内連絡会、職員向けメンタルヘルス研修、市民向け若年層自殺対策講座、学童クラブ等の職員を対象としたゲートキーパー研修、公立図書館にて「こころの健康」に関する図書展示 都作成の中学1年生向け小冊子を、多摩仕様で改編し、市内公立中学校に配布し授業への活用を依頼 こころの健康や自殺防止に関する情報と相談先一覧を記載したクリアファイルを、市内中学生・成人式参加者へ配布 等 		<ul style="list-style-type: none"> 未遂者向け普及啓発事業として、市内病院に、相談先を記載したチラシの設置を依頼(設置機関3箇所) 自殺対策庁内連絡会、職員向けメンタルヘルス研修、市民向け若年層自殺対策講座、学童クラブ等の職員を対象としたゲートキーパー研修、公立図書館にて関連図書展示等の実施 都作成の中学1年生向け小冊子を、多摩仕様で改編し、市内公立中学校に配布し授業への活用を依頼 こころの健康や自殺防止に関する情報と相談先一覧を記載した普及啓発物を、市内中学生、関連事業参加者へ配布 等 	順調	計画にて各事業に目標値(2023年度までの達成目標)を定めた。年1回の計画の進捗確認として、各事業の達成度を確認することができた。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策計画策定に当たり、各部署における自殺対策事業の実施状況について調査 こころの健康づくり講演会、こころの健康づくり講座、こころの体温計(メンタルセルフチェックシステム)の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 庁内横断的に議論を重ね、計画素案に対する市民意見公募を経て、計画策定を行った。 こころの健康づくり講演会、こころの健康づくり講座、こころの体温計(メンタルセルフチェックシステム)等の実施 	ほぼ順調	自殺対策計画の策定において、本市における課題と今後の取り組みの方向性を示すことができた。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内ネットワークの構築(圏域自殺対策担当者連絡会の実施、地域自殺対策協議会の開催) 市民及び労働分野への普及啓発(懸垂幕掲示、健康情報紙への記事掲載、DVD貸出、労働基準協会会報誌への寄稿等) 重点世代に対応した対策と支援(若年層向け啓発資料の配布、自殺対策推進研修の実施、壮年期向けリーフレットの更新・増刷・配布等) 身近なゲートキーパー養成(新入・転入職員を対象に養成講座を実施等) 		<ul style="list-style-type: none"> 圏域内ネットワークの構築(圏域自殺対策担当者連絡会の実施、地域自殺対策協議会の開催) 市民及び労働分野への普及啓発(懸垂幕掲示、健康情報紙への記事掲載、DVD貸出、労働基準協会会報誌への寄稿等) 重点世代に対応した対策と支援(若年層向け啓発資料の配布、自殺対策推進研修の実施、大学生の健康づくり支援事業と連動した情報提供) ゲートキーパー養成(食品衛生管理者講習会や所内職員を対象に養成講座を実施) 	ほぼ順調	大学とのネットワークを活用したことにより、重点世代に対する支援の幅を広げることができた。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に、救急医療機関に対し自殺未遂者に関する実態調査を行い、今後の支援方針の検討につなげていく予定。(八王子市) コロナ対策以降も、相談先の届出など、取り組みを強化してする必要があるがある。また、次期自殺対策計画策定の際には、新型コロナウイルスの影響も考慮(町田市) 日野市全体での自殺対策により、令和元年度は平成31年度に比べ自殺者数は減少したが、令和2年度は新型コロナの影響が心配されるため、対策を講じる必要がある。(日野市) 計画に基づきつつ、市の自殺の実態に合わせて対策を推進していく。今後、未遂者向け支援の充実を目指して、市内関係機関の調整を行う。(多摩市) 稲城市自殺対策計画に基づき、行政をはじめ、関係機関との連携・協働のもと、包括的な支援により、自殺対策を総合的に推進する。(稲城市) 若年層の自殺者数は依然高く推移しているため、重点世代に対応した対策と支援の充実を図る。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 6 母子保健の充実	整理番号	6
重点プラン	切れ目のない子育て支援の充実		
指標	子育て世代包括支援センターの設置・運営 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶母子保健型、基本型、市町村保健センターなど、各市の実情に合わせた、子育て世代包括支援センターの設置状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)
八王子市	平成29年10月設置済み	平成29年10月設置済み
町田市	既存事業により、子育て世代包括支援センター機能を発揮できるような体制で取り組んでいる。	既存の保健予防課4か所、子育て相談センター5か所、子ども家庭支援センターの計10か所を登録し既存事業を活用し実施している。
日野市	平成30年度中に基本構想とりまとめ	令和2年度より実施予定 (令和3年度から仮)子ども包括支援センターとして実施予定)
多摩市	平成32年度を目途に設置予定	令和2年度設置予定
稲城市	未設置(今後の予定も未定)	令和2年度末の設置に向けて準備中

▶妊婦面接の工夫や実施状況、支援プランの作成・評価実施の有無、関係機関連携のための工夫などの活動状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 「八王子版ネウボラ」として、28年度から妊婦面談を開始。面談時に一人ずつ支援プランを作成。面談後は育児パッケージ「はち☆ベビギフト」を配布。支援方針の評価は各保健福祉センター内のミーティングで実施 市内産婦人科と顔の見える連携推進のための産婦人科医療機関連携会議を実施 保健福祉センターと子ども家庭支援センターが連携してサポートする体制を整備していくため、支援が必要な妊婦について特定妊婦進行管理会議を保健福祉センターごとに月1回実施し、継続的に支援 等 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦面談率を上げるため、医療機関への周知、チラシの工夫、電話や手紙でのアプローチをした。 産婦人科医療機関連携会議において、精神科医師にも参加してもらい、顔の見える連携の推進を図った。 各保健福祉センターと子ども家庭支援センターが連携し、サポートする体制を整備していくため、支援が必要な妊婦について特定妊婦進行管理会議を保健福祉センターごとに月1回実施し、継続的に支援を行った。 平成30年8月より産後ケア事業の訪問型を開始した。 令和元年7月より、あかちゃん訪問でエジンバラ産後うつ評価票を導入し、産後の精神状態のアセスメントを強化した。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業や産後うつ評価票の導入など、産前産後のサポート体制の充実が図れた。 特定妊婦進行管理会議の実施により、支援が必要とされる妊産婦等の情報共有を深め、児童虐待の予防や早期発見に繋がった。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> こんにちは赤ちゃん会議(乳児家庭全戸訪問、マイ保育園訪問)における情報共有、かつ支援プランを作成するに当たり役割分担を明確にする会議)を毎月1回実施 ケース検討会議(支援対象となった方の支援プラン作成、振り返り、評価、見直し、終結などを検討)の実施 妊婦面接(保健予防課及び各地域の市民センターのほか、月1回土曜日実施)の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> こんにちは赤ちゃん会議:毎月1回実施し、関係機関との情報共有に努めた。 ケース検討会議:2か月に1回会議を実施し、関わりの評価・確認、終結などの状況を確認した。 妊婦面接:妊婦届時に面接勧奨し、面接を受けていない方へ面接の勧奨を実施。予定通り実施できた。 	順調	切れ目のない子育て支援として妊婦面接の面接率上昇に向けて取り組んだ。出産後は地域での見守りと関わりにより、支援が必要な方に行き届くよう取り組んだ。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 28年4月より、妊婦の全数面接を実施(29年度実績:面接実施率99.5%(暫定値)) 子育て世代包括支援センターについては、子ども家庭支援センターと健康課で検討委員会を立ち上げ、検討を開始 	妊婦の全数面接実施	ほぼ順調	妊婦面接実施率
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 29年度より妊婦面接(ゆりかごTAMA)を開始。必要な方には支援プランを作成し、支援を実施 子育て支援関係部署と母子保健部署とで、子育て世代包括支援センター設置に向けた話し合いを実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域子育て支援拠点を交えて子育て世代包括支援センターの取り組み内容を検討するためのワークショップおよび発表会を開催した。 子育て世代包括支援センター開設に向けて、担当職員の知識取得のため、勉強会を開催した。 専門分野ごとのワーキンググループで、子育て世代包括支援センターの効果的な支援内容等を検討した。(子育て支援拠点チーム、発達支援機関チーム、保育関係者との連携) 	順調	子育て世代包括支援センター開設に向けて、関係機関特に子育て支援機関と連携し、また、専門家と話し合いことで、市民のニーズに合った事業内容を検討した。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時に全員にアンケートを実施し、必要に応じて保健師が電話や面接等を行い、早期に支援につながるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時に全員にアンケートを実施し、必要に応じて保健師が電話や面接等を行い、早期に支援につながるようになっている。 	やや遅れている	人員体制、設置場所、連携体制などについて、具体的に計画していく必要がある。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦面談率の向上を図る。必要な時期に適切なサービスにつながるよう関係機関とも連携を強化していく。 今後も引き続き特定妊婦進行管理会議を実施し、連携を強化していく。(以上八王子市) 妊婦面接で把握した支援妊婦が、近年複雑かつ多様化した問題を抱えた妊婦が増加しており、支援者の対応も複雑化しておりマンパワーの確保が必要(日野市) 決定した事業内容を遂行するための仕組みづくりを行い、令和2年10月1日より多摩市子育て世代包括支援センターを開設。進捗状況確認のための仕組みを今後検討していく。(多摩市) 令和2年度の開設に向け、実施体制を整える。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ほぼ順調 やや遅れている 遅れている 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 7 歯と口腔の健康づくり	整理番号	7
重点プラン	生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進		
指標	かかりつけ歯科医の普及啓発と機能の充実に向けた取組 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科啓発リーフレット「介護予防で健康長寿 口の中を大切にしよう」を作成し、高齢者あんしん相談センター等に配布 ・節目年齢の方及び一定年齢期間等に一度も受診していない方を対象に、歯と口腔歯周病検診を実施 ・都主催の歯・口に関するポスターコンクールや作文等の表彰を通じて、歯と口の健康について児童・生徒に広く周知 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・節目年齢の方及び一定年齢期間等に一度も受診していない方を対象に、歯と口腔歯周病検診を実施 受診者 406名(異常なし 24名 要指導 106名 要精密 276名) ・歯科啓発リーフレット「介護予防で健康長寿 口の中を大切にしよう」を作成し、高齢者あんしん相談センター等に配布 ・医療従事関係者向け研修会「高齢者の“食べる”を支える」を開催(88名参加) ・口腔保健指導(歯みがき指導、歯科講話等)を実施(公立保育園3園、市立小学校2校) ・東京デンタルフェスティバル2019in八王子(東京都歯科医師会主催)において、口の健康を通して市民の健康寿命の延伸につなげる啓発を行った。 ・東京都学校歯科医会主催の歯・口に関する歯科保健優良校や歯の作文、ポスターコンクールの表彰を通じて、歯と口の健康について児童・生徒に周知し、う歯等の歯科疾患の早期発見や早期治療に係る啓発を行った。 ・学校保健連絡会にて歯科医師による口腔保健講演会を養護教諭向けに実施した。 	ほぼ順調	<p>計画どおり実施できたこと、受診者数が増加したこと。</p> <p>講習会等のイベントや啓発品などにより適切に普及啓発及び指導を行ったため。</p> <p>ポスターコンクールや作文等による普及啓発の取り組みのほか、養護教諭向けに口腔保健講演会を実施し普及啓発に取り組んだ。</p>
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象に、歯科健康教育講座を実施 ・乳幼児歯科健康診査及び3歳児歯科健診終了時に、かかりつけ歯科医の普及啓発に関するプリントを配布 ・歯科医師、歯科アシスタントに向けて、高齢者歯科口腔機能健診に係る研修会を実施 ・29年度より、71歳以上の市民を対象とした「高齢者歯科口腔機能健診」を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ふれあい館(6か所)で出張ミニ講座を実施 ・健康づくりフェアや体測定会などでの普及啓発をした(1055人) ・市庁舎ロビーや図書館イベントでも普及啓発を実施 ・高齢者歯科口腔機能健診に係る研修会を実施(37歯科医院が出席) ・園児むし歯予防教室にて普及啓発のプリントを配布(6167枚) 	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・他課(高齢者福祉課)や他職種(栄養士)と協働したことで普及啓発の数を充実できた。 ・市庁舎の活用や図書館のイベントなど市民の集まる場所での普及啓発も実施できた。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> ・お口の健康診査事業(歯周病検診)の実施 ・一定年齢を対象に無料で歯科健診を実施。歯科健診実施時にかかりつけ医定着の重要性について個別に健康教育を実施 ・健診受診後も継続的な定期歯科健診を促すため、健口手帳を配布 ・健康情報紙「ひのイキ」に、ライフステージごとの歯科疾患予防のポイントや定期的な歯科健診の重要性を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・お口の健康診査事業(歯周病検診)の実施 ・一定年齢を対象に無料で歯科健診を実施。歯科健診実施時にかかりつけ医定着の重要性について個別に健康教育を実施 ・健診受診後も継続的な定期歯科健診を促すため、健口手帳を配布 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士が地域に出向き、健康教育の中で、かかりつけ歯科医を持つことのメリットを周知した。 ・広報ひの12月1日号の健康コラムに、かかりつけ歯科医を持ち定期的に歯科健診を受けることの重要性を掲載 	ほぼ順調	<p>お口の健康診査時の健康教育での取り組みのほか、広報や地域に向向いての健康教育で周知啓発を行った。</p>
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診やパパママ学級に来所した方には「乳幼児対象の歯科医会診療所一覧」を、歯周病相談や30代健康診査でお口の相談に来所した方には「成人対象の歯科医会診療所一覧」を配布 ・3歳未満の幼児期からの「かかりつけ歯科医」定着のため、協力医療機関にアンケート調査を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診やパパママ学級、および妊婦歯科健診、出張教育に来所した方には「乳幼児対象の歯科医会診療所一覧」を、歯周病相談や30代健康診査でお口の相談に来所した方には「成人対象の歯科医会診療所一覧」を配布 ・乳幼児期からのかかりつけ歯科医の定着のため、協力医療機関にアンケート調査を実施 等 	順調	
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科講演会を実施し、市民が自ら歯の健康を守ることができるよう普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科講演会を実施し、市民が自ら歯の健康を守ることができるよう普及啓発を実施 ・後期高齢者の歯科健診 	やや遅れている	<p>健康づくり推進の取り組みの一環として、歯科講演会を実施している。</p> <p>後期高齢者に対する歯科健診の受診率が依然として低い状況である。</p>

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・受診券事前送付の対象年齢を拡大し、受診者数の増加を目指す。取組の対象が年少者と高齢者に偏っているため、各世代に広く対応できるように努める。 ・東京都学校歯科医会主催による歯科保健優良校や歯の作文、ポスターコンクールの表彰を通じた普及啓発を引続き行う。(以上八王子市) ・コロナ禍において、人を集めるイベント等を開催することは困難なため、SNSの活用などの機運が高まっているので、時流に合わせる。 ・コロナ禍でのかかりつけ医歯科医や定期健診の有用性や必要性を伝えていく。(以上町田市) ・かかりつけ歯科医の普及啓発をさらに充実させるため、後期高齢者歯科健診は口腔機能を評価できる項目内容に見直しを図る。(日野市) ・後期高齢者に対する歯科健診受診率の低さは課題と捉えており、未受診者に対する意識啓発が重要である。引き続き、健診対象者全員に、摂食嚥下に関するリーフレットを送付する予定としている。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	<p>順調 ・ ほぼ順調 やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要</p>

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第1節 8 様々な主体による健康づくり	整理番号	8
重点プラン	住民主体の健康づくり活動の推進		
指標	地域における健康づくり推進員等活動・住民主体の介護予防活動及びその活動支援 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 29年度より、健康づくりサポーターと食育サポーターを一本化し、運動・食育・こころの健康づくりの3つの支援から地域の中で健康づくりの核となるサポーターを養成 健康づくりサポーターのスキルアップ等を図るためのフォロー講座を実施 サポーターどうしの横のつながりづくりや、地域において実施する介護予防運動・食育等に関する自主活動への支援 高齢者いきいき課、健康政策課及び各保健福祉センターが協力して「八王子けんこう体操」を作成し、29年7月より普及啓発を開始。地域のシニアクラブや自治会等からの依頼に対し、健康づくりサポーターを派遣 等 	<ul style="list-style-type: none"> 29年度より、健康づくりサポーターと食育サポーターを一本化し、運動・食育・こころの健康づくりの3つの支援から地域の中で健康づくりの核となるサポーターを養成 健康づくりサポーターのスキルアップ等を図るためのフォロー講座を実施 サポーターどうしの横のつながりづくりや、地域において実施する介護予防運動・食育等に関する自主活動への支援 高齢者いきいき課、健康政策課及び各保健福祉センターが協力して「八王子けんこう体操」を作成し、29年7月より普及啓発を開始。平成30年4月からDVDを作成し、貸し出しを開始し、地域の活動団体と健康づくりサポーターに配布。平成31年度にはフレイル予防リーフレットの作成および活用を開始。地域のシニアクラブや自治会等からの依頼に対し、健康づくりサポーターを派遣を行った。 ※健康づくりサポーター登録者数127名(R2.3.31現在) 	ほぼ順調	健康づくりサポーターを養成し、活動支援を行った。共通で使用できる媒体が出来上がったことにより、市民や健康づくりサポーターとの活動が活性化した。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動支援(各地区担当者との定期的な打合せ、年間計画策定、総会や研修会の企画、地区便りの発行等) 健康づくり推進員活動(ウォーキング、料理教室、産後の母を対象としたリズムミック体操、スポーツ吹き矢、手作り味噌講座、ボール体操等) 町トレ(医療・運動の専門家と町田市が共同で考案した運動)及び健康チェック(市貸出しの骨密度測定機器、棒反応測定器等を使用)を各地区で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動支援(各地区担当者との定期的な打合せ、年間計画策定、総会や研修会の企画、地区便りの発行等) 健康づくり推進員活動(町トレ、ウォーキング、料理教室、スポーツ吹き矢、手作り味噌講座、ボール体操等) ※健康づくり推進員数162名(R2.3.31現在) 	ほぼ順調	推進員が主体的に地域活動が進められるよう、町トレと連携した取り組みをすすめた。(推進員町トレ取り組み 19件)
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 市内を四つの地域に分けて活動する4グループと、市内全域を対象にした1グループの計5グループに分かれて、「一次予防と寝たきり予防」を目的に活動(ウォーキング、健康体操、動物とのふれあい、歌声の集い、茶話会等) 健康づくり推進員活動が市民に定着し、参加者数が5年間で1000人増加。29年度は健康づくり推進員の新規登録が8名 	<ul style="list-style-type: none"> 市内を四つの地域に分けて活動する4グループと、市内全域を対象にした1グループの計5グループに分かれて、「一次予防と寝たきり予防」を目的に活動(ウォーキング、健康体操、動物とのふれあい、歌声の集い、茶話会等) 健康づくり推進員活動が市民に定着し、参加者数は平成26年度以降年間3000人程度で維持。令和元年度は健康づくり推進員の新規登録が3名 ※健康づくりサポーター登録者数36名(R2.3.31現在) 健康づくり推進員数 45名(R2.3.31現在) 	ほぼ順調	ウォーキングや室内体操など、一定数の参加者を維持し、運動や社会参加を促すことで「一次予防と寝たきり予防」がはかっている。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員地区活動の実施(ウォーキング、運動・体操、調理実習、健康講座等) 健康づくり推進員協議会全体会、健康づくり推進員を対象とした研修会の開催 29年より、介護予防事業として、「TAMAフレイル予防プロジェクト(TFPP)」の取組を実施 地域で介護予防活動を主体的に行う介護予防リーダーを養成し、住民主体の通いの場である「地域介護予防教室」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 29年より、介護予防事業として、「TAMAフレイル予防プロジェクト(TFPP)」の取組を実施 地域で介護予防活動を主体的に行う介護予防リーダーを養成し、住民主体の通いの場に、地域のリハビリテーション専門職を派遣し、活動を支援 介護予防リーダー養成数130人(令和元年度) 健康づくり推進員在籍者数60人(R2.3.31現在) 健康な食事づくり推進員が、主体的に事業の企画・運営に取り組み、事業内容も市民の要望を反映した「健康・運動・栄養」を中心に実施 (健康な食事づくり調理講習会、健康な食事づくり講演会、稲城市保健医療まつり、市民まつり) ※健康な食事づくり推進員=25人(令和2年度末時点) 住民主体の介護予防活動として、10回の体操教室を受講後に体操の自主グループ化する取り組みを実施。31年度は2グループが自主化され、令和2年3月時点で、41グループが活動(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4グループが10回の体操教室を中断。) 自主化した体操グループに対し、健康運動指導士が体操・活動のフォローアップを実施。また、「地区体力測定会と介護予防に関するミニ講座」を、市内各地区にて合計5回開催した(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止)。 	順調	近所de元気アップトレーニング(近トレ)、地域介護予防教室とともに、目標数に向け、着々と教室数を拡大することができている。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 健康な食事づくり推進員が、主体的に事業の企画・運営に取り組み、事業内容も市民の要望を反映した「健康・運動・栄養」を中心に実施 (健康な食事づくり調理講習会、健康な食事づくり講演会、稲城市保健医療まつり、市民まつり) 住民主体の介護予防活動として、10回の体操教室を受講後に体操の自主グループ化する取組を実施。29年度は7グループが自主化され、29年3月時点で36グループが活動 自主化した体操グループに対し、健康運動指導士やリハビリテーション専門職が体操・活動のフォローアップを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 健康な食事づくり推進員が、主体的に事業の企画・運営に取り組み、事業内容も市民の要望を反映した「健康・運動・栄養」を中心に実施 (健康な食事づくり調理講習会、健康な食事づくり講演会、稲城市保健医療まつり、市民まつり) ※健康な食事づくり推進員=25人(令和2年度末時点) 住民主体の介護予防活動として、10回の体操教室を受講後に体操の自主グループ化する取り組みを実施。31年度は2グループが自主化され、令和2年3月時点で、41グループが活動(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4グループが10回の体操教室を中断。) 自主化した体操グループに対し、健康運動指導士が体操・活動のフォローアップを実施。また、「地区体力測定会と介護予防に関するミニ講座」を、市内各地区にて合計5回開催した(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止)。 	やや遅れている	体操自主グループの立ち上げ件数について、年8グループを目標に掲げているが、体操を行う場所が無い、体操参加への移行を示す人が少ないなどの理由から、目標未達が続いている。地域によっては1グループも立ち上がっていないところもあり、引き続き、場所や広報の方法についての検討が必要。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりサポーターを養成を継続し、登録者数を増加させるとともに、活動支援を充実させ、活動の場を広げる。 健康づくりサポーターのフォロー講座の受講率の向上。(以上、八王子市) 推進員や参加者の高齢化に伴い、無理なく安全な活動内容・実施ができるように促すとともに、推進員自身の自立を通した健康づくり推進員自体の若返りを図っていけるような介入が必要。また「一次予防と寝たきり予防」という目的に加え、フレイル予防の視点を持った地域活動への発展を推進していく。(日野市) 感染症対策を含め、市民の主体的な地域活動支援を継続して行い、教室が立ち上がっていないエリアを中心に、引き続き教室数を拡大していく。(多摩市) この度、広報等を活用することで、定員を超える応募があったところ。場所の発掘や、広報の活用についても引き続き検討する。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 1 高齢者への支援	整理番号	9
重点プラン	認知症(若年性を含む)の早期診断と地域生活の支援、地域資源を活用した見守りの推進		
指標	認知症の人や家族を支える体制 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアパスを活用し、初期集中支援事業の普及啓発活動を実施(健康フェスタ、パネル展示、認知症サポーター養成講座) 常設の認知症家族サロン(火～土)設置。認知症家族サロンによる家族会の立ち上げ、運営支援 見守りシール事業の新規導入(29年4月～) GPS探索機器の小型化導入(29年1月～)等 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアパスを活用し、初期集中支援事業の普及啓発活動を実施(健康フェスタ、パネル展示、認知症サポーター養成講座、図書館テーマ展示) 常設の認知症家族サロン(火～土)設置。認知症家族サロンによる家族会の立ち上げ、運営支援 見守りシール事業の新規導入(29年4月～)、行方不明高齢者探索模擬訓練の実施 GPS探索機器の小型化導入(29年1月～)、賠償責任保険の附加等 	ほぼ順調	より広く市民等に周知や普及啓発を図ることで、認知症への偏見や誤解をなくし、住みやすい社会の実現を目指す取り組みを実施した。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の認知症カフェ(Dカフェ)を、地域住民が認知症を知り関心を持つきっかけとなるよう、幅広い世代が利用するコーヒーチェーン店の協力により、市内8店舗全店で毎月開催 市以外が主催している認知症カフェは、認知症カフェ(Dカフェ)連絡会を開催し情報共有 市内12か所の高齢者支援センター(地域包括支援センター)で家族介護者教室及び家族介護者交流会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の認知症カフェ(Dカフェ)を、幅広い世代が利用するコーヒーチェーン店の協力により、毎月開催。※2019年11月に新店舗がオープンし、市内9店舗で開催 市主催の認知症カフェ(Dカフェ)にご協力いただいているコーヒーチェーン店と2019年4月に「認知症の人にやさしい地域づくりに関する包括的連携協定」を締結 認知症カフェ(Dカフェ)連絡会が年4回開催され、情報共有 家族介護者教室を年24回、家族介護者交流会を年116回開催 	ほぼ順調	認知症カフェ(Dカフェ)にご協力いただいているコーヒーチェーン店と新たに協定を結び、認知症の人にやさしい地域づくりを推進した。認知症サポーター養成講座では昨年度を超える人数を養成し、認知症についての正しい知識と理解を広く市民に啓発した。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 多摩平の森の病院が地域連携型認知症疾患医療センターとして都に選定されたことを受け、市は同病院と連携・協力を29年7月に同院内に認知症初期集中支援チームを整備。認知症の早期発見から診断・治療までのケアを効果的に行う体制を構築 市内各企業、学校、地域住民等を対象に、認知症サポーター養成講座を開催。修了者を対象にステップアップ講座も開催 多摩平の森の病院(地域連携型認知症疾患医療センター)内に医療相談や交流ができる医療連携型の認知症カフェを整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症病棟を有する七生病院内に認知症初期集中支援チームを整備するため、七生病院、多摩平の森の病院と市と連携会議を実施。令和2年度より七生病院の支援チームを整備 東京都多摩若年性認知症総合支援センターと連携し、市内各企業の認知症サポーター養成講座を実施。学校、地域住民等を対象に、認知症サポーター養成講座を開催。修了者を対象にステップアップ講座も開催 オレンジ広場(認知症カフェ)と多摩平の森の病院(地域連携型認知症疾患医療センター)と連携し、認知症認定看護師による相談を実施等 	順調	令和元年6月に「認知症施策推進大綱」が策定され、新たに若年性認知症への取り組みを実施。また本人・家族支援の充実に向けて、認知症初期集中支援チームの整備およびオレンジカフェ(認知症カフェ)の充実に取組んだ。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員が中心となって、地域の認知症支援関係者との連絡会を定期的に開催しネットワークを形成 認知症初期集中支援チームによるアウトリーチを認知症地域支援推進員や地域包括支援センターと協力し実施 平成30年度より認知症サポーター養成講座の受講者に対してフォローアップ講座を開催。フォローアップ講座を受講した方の中で希望者に対し多摩市オレンジパートナー制度への登録を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員が中心となって、地域の認知症支援関係者との連絡会を定期的に開催しネットワークを形成 認知症初期集中支援チームによるアウトリーチを認知症地域支援推進員や地域包括支援センターと協力し実施 平成30年度より認知症サポーター養成講座の受講者に対してフォローアップ講座を開催。フォローアップ講座を受講した方の中で希望者に対し多摩市オレンジパートナー制度への登録を開始 	ほぼ順調	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの数を増加することができている。サポーターの対象拡大や、認知症初期集中支援チームの効果的な活用等、再度検討をしている。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 29年4月より、地域連携型認知症疾患医療センターに1チームを派遣し活動 認知症の方を介護する家族等が集まり相談や情報交換をし合う場として、「介護者交流会」「家族介護教室」を開催 市内に一つある家族会へ、食事会参加や講座開催の支援を認知症地域支援推進員を中心に実施等 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員、地域包括支援センターが初期集中支援チームと連携し、医療や介護サービスにつながる認知症高齢者に対応 認知症の方を介護する家族等が集まり相談や情報交換をし合う場として、「介護者交流会」「家族介護教室」を開催 市内に一つある家族会へ、食事会参加や講座開催の支援を認知症地域支援推進員を中心に実施 令和元年6月から、認知症の本人の話を聞く場として、新規で認知症カフェを開設 	ほぼ順調	認知症初期集中支援チームは、訪問件数は伸びていること。今後は単に数値で見だけでなく、依頼ケースの状況についても検討。 認知症カフェを新規開設し、認知症初期本人の方に対する支援を行っていること。またその場に、認知症サポーター養成講座のステップアップ講座を受講したサポーターにボランティアとして入ってもらって、サポーターの活用や地域での見守り体制を整えていること。

指標に係る実績データ

認知症初期集中支援チームの訪問実件数、延件数		認知症サポーターの養成人数の実績		＜参考＞都が行う認知症サポート医の養成人数の実績							
【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)				【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)							
実績	平成29年度	認知症初期集中支援チーム	訪問実件数	訪問延件数	平成29年度	認知症サポーター	養成人数				
	八王子市	4	33	八王子市	4,067	令和元年度	認知症初期集中支援チーム	訪問実件数	訪問延件数	令和元年度	認知症サポーター
値	町田市	39	103	町田市	3,079	八王子市	4	21	八王子市	3,140	
	日野市	32	65	日野市	2,436	町田市	12	40	町田市	3,260	
	多摩市	3	7	多摩市	853	日野市	16	129	日野市	2,378	
	稲城市	1	1	稲城市	1,184	多摩市	3	4	多摩市	840	
	稲城市	1	1	稲城市	1,184	稲城市	5	17	稲城市	195	
平成29年度 認知症サポート医(養成研修修了者)				令和元年度 認知症サポート医(養成研修修了者)							
		養成人数(※)				養成人数(※)					
八王子市	43	八王子市	53								
町田市	19	町田市	29								
日野市	20	日野市	24								
多摩市	13	多摩市	16								
稲城市	7	稲城市	7								

※平成29年度末現在の累計 ※令和元年度末現在の累計

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 着実な事業遂行が重要であるが、集合・参加型の事業が中心となるため、今後リモート化を図るなどにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を踏まえた取組を継続実施していく。(八王子市) 引き続き、認知症カフェ(Dカフェ)、家族介護者教室や交流会を実施し、認知症の人やその家族を支える体制を充実させる。(町田市) 認知症初期集中支援チーム2チームの体制整備 新型コロナウイルス感染予防対策を行い、新しい生活様式に合わせたサポーター養成講座やオレンジ広場等を開催していく。(以上日野市) 認知症初期集中支援チームの新規件数が増加しないため、チームを活用するための効果的な手法を検討していく。 認知症サポーター養成講座について、認知症の人と地域で関わる人が多いと想定される対象者への養成講座を拡大していく。(以上多摩市) 認知症初期集中支援チームについて、最終が入院・入所となるような重度なケースに限らずに幅広く活用していく。 認知症サポーター養成講座について、地域のニーズに合わせたサポーターの活用や、サポーターのレベルアップを目指したフォローを検討する。 認知症本人・家族への支援として、認知症カフェの拡充、家族会や介護者交流会の開催を継続していく。(以上稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ほぼ順調 やや遅れている 遅れている 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 2 障害者への支援	整理番号	10
重点プラン	重症心身障害児(者)に対する災害時支援体制の整備の推進		
指標	災害時個別支援計画の作成 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況/達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児を含め、重症心身障害者(児)の受け入れができる医療機関や施設等が不足しており、支援の体制整備が難しい状況があるため、八王子市障害者地域自立支援協議会と連携し、重症心身障害者(児)への支援の在り方について調査・検討を実施 八王子市障害者地域自立支援協議会子ども部会内に、「重症心身障害児ワーキングチーム」を設置し、都内の在宅レスパイト事業を実施している自治体に対して、サービス内容や利用状況などを照会 29年度の災害時個別支援計画新規作成:14件 在宅人工呼吸器使用者の「個別支援調書」に基づき、避難行動要支援者名簿へ登録 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時個別支援計画新規作成: 8件 医療的ケア児を含め、重症心身障害者(児)の支援のあり方について、八王子市障害者地域自立支援協議会と連携し、重症心身障害者(児)への支援の在り方について調査・検討を実施 令和2年(2020年)4月より「八王子市重症心身障害児(者)等在宅レスパイト事業」を実施 平成30年度より、在宅人工呼吸器使用者(難病を除く)へ自家発電機の給付を開始。令和元年度は3件給付。 在宅人工呼吸器使用者の「個別支援調書」に基づき、避難行動要支援者名簿へ登録 	ほぼ順調	災害対策研修として発電機の試行運転や災害時個別支援計画の活用等の啓発や課題を、訪問看護ステーション連絡会等を活用し再認識できた。また、年に1回の更新を行っている。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 重症心身障がい相談事業の実施(在宅療養支援のため、重症心身障害児(者)及び医療的ケア児を対象に、看護師を派遣して療育上の介護や家族への看護技術指導を行うとともに、必要に応じて専門医による訪問健診を実施) 災害時個別支援計画作成の取組状況を把握。作成・更新が適切に行えるよう、保健所としての体制づくりを検討中 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都重症心身障がい相談事業の実施申請窓口であり、都委託訪問看護師、関係機関と連携し児と家族の療養環境を整えている。 災害時個別支援計画作成の取組、作成・更新が適切に行えるよう、関係部署と連携する。(計画作成11件/呼吸器使用者11件) 重症心身障害児相談の充実のため、訪問看護事業部主催の地域連携会議には町田市内の関係機関の参加を得て開催し、地域課題を共有・検討している。 	ほぼ順調	重症心身障害児相談の充実のため、訪問看護事業部の地域連携会議には町田市内の関係機関の参加を得て開催。
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 災害時個別支援計画の作成、一斉更新のための連絡会を実施 個別ケースの状況把握については、上記連絡会に限らず、随時情報交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所と災害時個別支援計画の作成、更新のための連絡会、個別ケースの状況把握について随時情報交換を実施した。 在宅人工呼吸器使用者の災害時個別支援計画作成・更新時に、市職員が立ち会いを行った。 	ほぼ順調	災害時個別支援計画の作成、一斉更新のための保健所との連絡会等の情報交換のほか、新たに在宅人工呼吸器用自家発電装置購入費の助成を実施した。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 災害時個別支援計画作成の取組は行っていないが、特別支援学校の保護者の会との意見交換会開催時に災害をテーマに話し合いを実施し、また、管理組合や自治会等とのつながりを持ち、日頃から災害に備えるよう促した。窓口でも、ケースに応じた災害時の備えについての注意喚起を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時個別支援計画作成については、計画作成の庁内での担当が定まっておらず、南多摩保健所の協力のもと、都度人工呼吸器使用者に対して、障害福祉課で対応している。 令和元年より「医療的ケア児(者)連携推進協議会」が立ち上がり、その中で防災の問題も話し合われており、継続して課題について協議する。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 災害時個別支援計画の庁内での担当が定まっておらず、内容や必要性が認識されていない。 南多摩保健所の協力の下、災害時個別支援計画の作成をしている。また、医療的ケア児(者)連携推進協議会においても、災害対策について継続的に協議を行っている。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 29年度の災害時個別支援計画新規作成:1件 	<ul style="list-style-type: none"> 元年度の災害時個別支援計画新規作成:1件 	ほぼ順調	ベースライン値と同程度の取組が維持できている。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 29年度末までの災害時個別支援計画作成支援:7件 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末までの災害時個別支援計画策定支援:30件 	ほぼ順調	防災計画や体制も視野に入れて、計画を策定すると共に3市の情報共有を行うことにより、実行性のある計画に近づける努力をした。

課題・今後の方針/圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 自助、共助を基盤とした事前の備えを啓発していくとともに、災害時個別支援計画策定においては、対応可能な計画になるよう各関係機関や本人・家族等と調整していくことが必要(八王子市) 保健所と連携し新たな在宅人工呼吸器使用者の把握を行うとともに、既使用者を含めた個別ケースに関する情報交換を随時行い、災害時個別支援計画の作成を推進する。(日野市) 災害時個別支援計画の認識が庁内で差がある。要援護者の災害時の対策については令和2年から具体的な対応について協議開始されており、その中で災害時個別支援計画の位置づけについても検討したい。(多摩市) 保健所及び関係部署と連携し、個別支援計画の作成・更新を行う(稲城市) 新型コロナウイルスの影響により避難を予定している避難所の受け入れ人数や市の体制が変わる可能性がある。また、密を避けるために、計画を策定しても自宅に関係者が集まって共有する機会が減っている。 自宅での避難も視野に入れ、医療機器を移動させる電源確保が安心してできるよう、各市と協力して計画を更新していく。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 3 難病患者への支援	整理番号	11
重点プラン	在宅難病患者の療養支援の充実		
指標	難病の特性や病状に応じた療養生活の支援 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶在宅療養支援充実のための取組状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 難病講演会、訪問看護ステーション連絡会、難病保健医療福祉調整会議の実施 難病患者の家庭訪問、訪問リハビリの実施 在宅療養支援計画策定・評価事業の実施 	難病講演会 1回 訪問看護ステーション連絡会 1回 難病実務者会 1回 難病保健医療福祉調整会議 1回 難病療養相談(保健師) 延1,499件 訪問リハビリ28件 在宅療養支援計画策定・評価事業 5回	ほぼ順調	在宅療養支援計画策定・評価会において事例検討した支援方針を家庭訪問時に生かせるよう対応した。また、疾理解の観点から講演会や研修会を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 在宅神経難病患者を中心として、保健師による家庭訪問、面接相談、電話相談、関係機関連絡等を実施 訪問リハビリについては、市内2機関に委託、実施 関係機関とのカンファレンスを、随時開催、参加 	家庭訪問235件／面接相談29件／電話相談343件／文書10件／関係機関連絡453件 ・訪問リハビリは市内1機関に委託 ・個別支援に係るカンファレンスは随時開催、参加	順調	難病対策地域協議会の設置、難病講演会の開催により地域支援ネットワークを構築し、個別支援の充実に向けて取り組んだ
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 保健師による個別援助活動(家庭訪問、関係機関を交えたカンファレンス) PT、OT、STの指導(家庭訪問) 災害時個別支援計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 保健師による個別援助活動(家庭訪問、関係機関を交えたカンファレンス) PT、STの指導(家庭訪問) 災害時個別支援計画の作成 	ほぼ順調	新型コロナのため、アルコール等在宅療養に不可欠な物品の不足等の問題が発生したが、早期に対応することにより、大きな問題には至らず療養生活を送ることができている。一度に訪問できる人数や回数に制限が生じることはあるが、必要なサービスが途切れないよう、感染症対策を行いつつ、保健師による個別援助活動は継続して行っている。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 疾病により家庭訪問基準を定めてるが、基準通りにならない場合がある。家庭訪問基準をより有効的に行えるよう課題を明確に検討していく。(八王子市) 地域支援ネットワークの充実と推進に向けて取り組む(町田市) 新型コロナ対策と安心して在宅療養を行うことができる体制を両立させるため、引き続き患者本人や家族、関係者と相談しながら支援を行っていく。(南多摩) 				
達成度(自己評価の平均)	順調	ほぼ順調	やや遅れている	遅れている	見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 4 精神障害者への支援	整理番号	12
重点プラン	非自発的入院患者への支援の充実		
指標	非自発的入院患者への個別支援 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶非自発的入院患者への支援のための取組状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者地域自立支援協議会の開催、地域移行会議への参加 ・個別支援カンファレンスへの参加 ・困難事例検討会の実施(医療観察法など弁護士によるミニ講座も企画) ・精神障害者早期訪問支援事業の実施(訪問及び面接、連絡調整会、精神科医によるスーパーバイズ、運営評価会議) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者地域自立支援協議会の開催 ・障害者地域自立支援協議会地域移行部会の開催 ・地域移行個別支援会議への参加 ・令和2年度から措置入院者退院後支援ガイドラインに沿った支援を開始するための準備を行った。 	ほぼ順調	令和2年度からガイドラインに沿った支援を開始できるよう要綱等整え、準備を行った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・23条通報の事例についての処遇検討(23条通報のあった事例のうち、市内に住民票がある者は、全ケース都へ照会し所内で処遇検討を実施) ・個別支援(23条通報のあった事例については、精神業務グループで支援の有無について処遇検討を行い、保健師フォローを実施。支援が必要な者については、入院中からPSW等に連絡、介入し支援を実施。院内カンファレンスや地域内調整を実施) ・市内医療機関調査(保健所保健師と精神科病院の顔の見える関係づくりや非自発的入院者の退院支援等の取組の現状について調査し、連携の在り方や保健所に求められる役割について検討) ・地域精神保健福祉連絡協議会にて、医療機関調査等について報告。次年度は1医療機関と、連携に向けた話し合い実施が決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・23条通報の事例について、処遇検討を行い随時必要な支援を実施 ・2018年度、市内1医療機関と連携に向けた検討会を実施。2019年度、市内4医療機関に対して訪問による聞き取り調査を実施。地域精神保健福祉連絡協議会にて情報共有を図った。 ・2020年1月、東京都における措置入院者退院後支援ガイドラインが示され、支援体制について検討を行った。 	順調	医療機関との連携を深めるため、聞き取りによる調査を行った。措置入院者の退院後支援体制の構築を図った。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・非自発的入院患者への個別支援(家庭訪問) ・関係機関会議等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・非自発的入院患者への個別支援 ・関係機関会議の実施 	ほぼ順調	・家庭訪問だけでなく、電話・面接等で直接患者支援を行うと共に、関係者との連携を大事にすることにより支援体制の充実に取り組んでいる。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院者退院後支援を開始するにあたり、市内病院への説明を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、実施できなかったため、個別ケースを対応しながら連携を深めていきたい。(八王子市) ・引き続き関係医療機関との連携を図り、個別支援の充実を図る。(町田市) ・新型コロナの影響により、地域での利用サービスに制限が出たり、病院でのカンファレンスや面会が中止になるなど、在宅療養に向けた体制整備や連携に支障が出ている。今後、感染予防対策を充実させながら、関係機関と共に本人支援を行っていく。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 5 在宅療養の推進	整理番号	13
重点プラン	在宅療養生活への円滑な移行の促進		
指標	在宅医療・介護連携相談窓口の運営及び医療・介護関係者間の情報共有・連携の支援 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶医療・介護関係者間での情報共有や連携を支援する取組の状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	・多職種連携研修会の実施(医師、歯科医師、薬剤師、病院相談員、介護支援専門員、管理栄養士、訪問看護ステーション・PT、民生委員、包括支援センター、市が参加)	・多職種連携研修会の実施(医師、歯科医師、薬剤師、病院相談員、介護支援専門員、訪問看護ステーション・PT、民生委員、包括支援センター、市が参加)	ほぼ順調	医療、介護等の関係機関や市民からの相談に対し、在宅医療相談窓口において必要な支援を行った。
町田市	・28年度より、町田市医師会に委託し、次の業務を実施(医療・介護事業者等からの電話による相談受付・支援、在宅医療・介護連携に関する医療・介護機関の連絡調整、地域ケア会議や他団体の連絡会へ出席し窓口業務を周知、町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事業に関わる業務) ・医療情報冊子「みんなの医療」を市民へ配布 ・かかりつけ医等の見つけ方、救急医療、在宅医療の利用に当たっての心構えや相談先を、ホームページにて普及啓発	・28年度より、町田市医師会に委託し、次の業務を実施(医療・介護事業者等からの電話による相談受付・支援、在宅医療・介護連携に関する医療・介護機関の連絡調整、地域ケア会議や他団体の連絡会へ出席し窓口業務を周知、町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事業に関わる業務)	ほぼ順調	相談件数は減少したものの、在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口「医療と介護の連携センター」の周知を継続して実施し、専門職からの相談に対応した。
日野市	・日野市立病院医療連携室内に在宅療養高齢者等支援窓口を設置(24年10月から継続実施)し、在宅療養に関する相談、情報提供等を実施 ・地域包括ケアの充実を進める「在宅療養支援課」を新設(30年4月から)	平成30年度4月在宅療養支援課が開設、市立病院と相談窓口の普及啓発に取り組んだ。	順調	在宅療養支援課が開設し、相談窓口の普及啓発に取り組み、相談件数が増加した。
多摩市	・28年6月から、基幹型地域包括支援センター内に「多摩市在宅医療・介護連携窓口」を設置し、医師会、歯科医師会の協力のもと、専門職を対象とした相談窓口を稼働 ・基幹型地域包括支援センター職員が、専門職からの相談対応、情報提供及び連携に関する課題の情報収集を実施 ・個別ケースへの対応は、地域型地域包括支援センターで対応 ・多摩市医師会への委託事業「多摩市高齢者在宅療養支援窓口」開設(30年4月)に向けた準備実施	・多摩市高齢者在宅療養支援窓口職員が、専門職・家族からの相談対応、情報提供及び連携に関する課題の情報収集を実施。 ・個別ケースへの対応は、地域包括支援センターで対応	順調	周知・普及活動を行ってきたため、市民や関係機関の窓口の相談機能の認識が高まり、相談件数が着々と増加している。
稲城市	・29年度も相談窓口を継続し、前年度と比較して相談件数は増加 ・ケアマネジャーの職能団体、相談窓口及び高齢福祉課で協力し、「稲城市在宅医療・介護連携事業所一覧」を作成し、市内医療機関、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターに配布	・ケアマネジャーの職能団体、相談窓口及び高齢福祉課で協力し、「稲城市在宅医療・介護連携事業所一覧」を作成し、市内医療機関、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターに配布 ・3カ月に1回、「いなぎ在宅医療・介護相談室だより」を発行し、関係職種に相談室の利用への啓発を行った。 ・市外で行われる研修会や意見交換会にも参加し、市外との連携促進にも取り組んだ。	ほぼ順調	・相談件数はほぼ横ばいに推移。 ・「稲城市在宅医療・介護連携事業所一覧」についても、薬局を新たに追加し、連携ツールとしての充実を図っているところ。 ・医療機関からの相談件数が約1割と低値。医療機関への情報発信等、充実させ、退院支援等にも関わられるよう努めていく。

指標に係る実績データ

▶各市が設置(委託)している在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口の相談総数

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)																																																			
実績値	平成29年度 在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口の相談総数	令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口の相談総数																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電話相談</th> <th>来所相談</th> <th>その他の方法による相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八王子市</td> <td>230</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td>273</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日野市</td> <td>2,090 ※内訳不詳。なお、市立病院の院内調整件数を含む。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多摩市</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>稲城市</td> <td>54</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>*多摩市は実件数</p>		電話相談	来所相談	その他の方法による相談	八王子市	230	12	5	町田市	273	0	0	日野市	2,090 ※内訳不詳。なお、市立病院の院内調整件数を含む。			多摩市	2	1	0	稲城市	54	3	6	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電話相談</th> <th>来所相談</th> <th>その他の方法による相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八王子市</td> <td>256</td> <td>51</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td>190</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日野市</td> <td>市立病院</td> <td>2,048</td> <td>※内訳不詳。市立病院の院内調整件数を含む。</td> </tr> <tr> <td>在宅療養支援課</td> <td>74</td> <td>20</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>多摩市</td> <td>199</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>稲城市</td> <td>57</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		電話相談	来所相談	その他の方法による相談	八王子市	256	51	3	町田市	190	0	0	日野市	市立病院	2,048	※内訳不詳。市立病院の院内調整件数を含む。	在宅療養支援課	74	20	3	多摩市	199	10	0	稲城市	57	2
	電話相談	来所相談	その他の方法による相談																																																		
八王子市	230	12	5																																																		
町田市	273	0	0																																																		
日野市	2,090 ※内訳不詳。なお、市立病院の院内調整件数を含む。																																																				
多摩市	2	1	0																																																		
稲城市	54	3	6																																																		
	電話相談	来所相談	その他の方法による相談																																																		
八王子市	256	51	3																																																		
町田市	190	0	0																																																		
日野市	市立病院	2,048	※内訳不詳。市立病院の院内調整件数を含む。																																																		
	在宅療養支援課	74	20	3																																																	
多摩市	199	10	0																																																		
稲城市	57	2	4																																																		

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療相談窓口を運営するとともに、多職種研修を通じてネットワークの構築をはかります。(八王子市) 相談体制を充実させるため、電話以外の訪問等による相談体制を整える。そのため、在宅医療・介護連携強化型地域包括支援センターを設置し、在宅医療・介護連携推進事業による相談窓口業務を委託する。(町田市) 市立病院相談窓口や在宅療養支援課相談窓口の役割分担を明確にし、それぞれの普及啓発をさらに充実させる。また、双方の窓口の連携及び他部門・近隣市の相談窓口との連携を充実させていく。(日野市) 多摩市内における病院の退院支援部門(相談窓口)一覧表の作成 市民や関係機関への窓口の相談機能の更なる周知を行っていく(以上多摩市) 「稲城市在宅医療・介護連携事業所一覧」について、使用者である医療・介護関係職種から意見を聴取し、より連携しやすいツールとして活かせるよう、新たに掲載する事業所等検討していく。 医療機関についてもアプローチを重ね、相談室の活用を啓発していく。(以上稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第1章第2節 6 医療連携体制の推進	整理番号	14
重点プラン	地域における脳血管内治療の医療連携の推進		
指標	脳梗塞に対する脳血管内治療 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶脳卒中医療連携協議会における脳血管内治療推進の取組				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩保健医療圏脳卒中連携協議会の開催 圏域において脳卒中に関わる医療・介護従事者を対象に、脳卒中パス合同会議を開催 脳卒中医療連携推進事業において、地域の脳卒中医療連携推進のため、ケアマネジャーに対して在宅生活ノートの概要及び活用方法を紹介、配布 地域住民への普及啓発のため、八王子市及び町田市を会場として、脳卒中市民公開講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩保健医療圏脳卒中連携協議会の開催 圏域において脳卒中に関わる医療・介護従事者を対象に、脳卒中パス合同会議及び医療従事者研修を開催 地域住民への普及啓発のため、日野市及び多摩市を会場として、脳卒中市民公開講座を実施 	ほぼ順調	市民への普及活動および医療従事者への研修は充実しており、達成状況は良好と考える。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	パス会議等を用いてICTを利用した情報共有ツールの普及を行い、円滑な医療連携を促進する。(南多摩)				
達成度(自己評価の平均)	順調	ほぼ順調	やや遅れている	遅れている	見直しが必要

項目	第1章第2節 6 医療連携体制の推進	整理番号	15
重点プラン	糖尿病医療連携体制の推進		
指標	「糖尿病地域連携の登録医療機関」制度の活用 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶糖尿病医療連携推進検討会における制度活用を推進する取組				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩保健医療圏糖尿病医療連携検討会の開催 地区部会(八王子地区・町田地区・南多摩地区 各2回)の開催 糖尿病治療マニュアル改訂版の作成・配布 糖尿病地域連携の登録医療機関向け研修会の実施(圏域・八王子地区・町田地区・南多摩地区) 住民向け講演会の実施 糖尿病連携手帳等のポスター、チラシの作成・配布 糖尿病地域連携登録医療機関の全数調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩保健医療圏糖尿病医療連携検討会の開催 地区部会(八王子地区、町田地区)、作業部会の開催 糖尿病連携マップの更新版作成・配布 糖尿病地域連携の登録医療機関向け研修会の実施(八王子地区)(コロナ禍により多摩・稲城地区は中止) 住民向け講演会の実施(日野地区、多摩・稲城地区)(コロナ禍により町田地区は中止) 糖尿病連携手帳等のポスターの作成・配布 糖尿病地域連携登録医療機関のリスト作成、実績報告 	ほぼ順調	年度末の新型コロナの流行により、予定していた医療機関向けの研修会や住民向け講演会が一部中止になった。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	新型コロナ禍で、思うように事業の実施ができないが、できることを着実に実施し、登録医療機関制度の活用を推進する。(南多摩)				
達成度(自己評価の平均)	順調	ほぼ順調	やや遅れている	遅れている	見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 1 健康危機管理体制の充実	整理番号	16
重点プラン	新型インフルエンザ等感染症医療体制等の充実		
指標	新型インフルエンザ等感染症への対応力 ⇒ 強化する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶南多摩保健医療圏感染症地域医療体制ブロック協議会の開催状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)		
南多摩保健医療圏	・南多摩保健医療圏感染症地域医療体制ブロック協議会の開催 (議事:圏域新型インフルエンザ対応訓練結果、圏域における特定接種登録申請状況)	・南多摩保健医療圏感染症地域医療体制ブロック協議会の開催 (令和2年3月25日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の都内発生状況等を受け開催中止)		
▶防護服着脱訓練や医療機関等との対応訓練、研修会の実施状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	・防護服及びN95マスクの着脱訓練の実施 ・国、都が実施した通報訓練に参加	・防護服及びN95マスクの着脱訓練の実施 ・国、都が実施した通報訓練に参加 ・東京医科大学八王子医療センターと連携した患者搬送訓練の実施	ほぼ順調	予定している訓練を実施できているため。
町田市	・防護服着脱訓練の実施 ・「感染症防止対策加算1合同カンファレンス」2病院での会議に参加 ・感染症担当のメーリングリストを活用し、情報提供を実施 ・保健所内における健康危機管理研修を実施	・保健所内職員向けに、防護服着脱訓練、N95マスクフィットテスト、嘔吐物処理訓練を実施 ・感染症対策に係る地域連携会議に参加 ①令和元年5月 多摩丘陵病院主催、②令和元年11月及び令和2年2月 町田市民病院主催 ・感染症対策連絡会におけるメーリングリストを活用し、保健所管内医療機関向けに感染症関連情報を提供	順調	平時と異なる感染症発生動向が見られた際に対応できるよう、可能な範囲で準備を行った。
日野市	・管内3市は、26年11月に新型インフルエンザ等対策行動計画南多摩保健所管内3市連携・協力に関する基本協定を締結し、定期的に会議等を開催 ・日野市を会場として、管内3市合同で、新型インフルエンザ用陰圧テントの開閉訓練を実施	・新型インフルエンザ等感染症3市連携会議を令和元年8月8日に開催 ・多摩市で3市合同防護服着脱訓練を令和2年1月15日に実施 ・令和元年12月27日日野市健康課職員で陰圧テントの開閉訓練を実施 ・日野市立病院と南多摩保健所とで協力して新型インフル実働訓練を実施	ほぼ順調	防護服の着脱や陰圧テントの開閉を経験しておくことが重要。毎年の訓練が有事の時に役立つ。
多摩市	・市独自に、過去に経験のない職員を対象として防護服着脱訓練を実施	南多摩保健所にて開催する防護服着脱訓練に参加した。また、多摩市独自に、過去経験のない職員を対象に防護服着脱訓練を実施した。なお、今年度については、南多摩保健所管内3市合同で実施した。	順調	南多摩保健所管内3市での連携を強化した。
稲城市	・新型インフルエンザ等感染症3市連携会議の開催(日野市、多摩市、稲城市において持回りで開催し情報交換)	・新型インフルエンザ等感染症3市連携会議(日野市、多摩市、稲城市)を開催し情報交換した。 ・稲城市保健センター(健康課)職員で陰圧テント設置訓練を実施した。	ほぼ順調	保健医療圏3市において、緊密な連携が図られている。
南多摩保健所	・管内3市合同防護服着脱訓練及びN95マスクフィットテストの実施 ・管内3市新型インフルエンザ等感染症対策合同連絡会の開催(3市、医師会、薬剤師会、感染症診療協力医療機関、感染症入院医療機関、2次救急医療機関参加) ・新型インフルエンザ対応訓練(実働訓練)の実施(都内発生早期における患者の新型インフルエンザ専門外来への誘導、診察、検査、検体採取、保健所による疫学調査等の実施、感染症指定医療機関への移送までの一連の流れを想定)	・管内3市合同防護服着脱訓練及びN95マスクフィットテストの実施 ・都の実施する医療資源把握調査のとりまとめ ・管内3市新型インフルエンザ等感染症対策合同連絡会の開催(3市、医師会、薬剤師会、感染症診療協力医療機関、感染症入院医療機関、2次救急医療機関参加) ・感染症診療協力医療機関と保健所による新型インフルエンザ対応訓練(合同実働訓練)の実施 ・新型コロナウイルス感染症(令和2年2月1日より指定感染症)への対応	ほぼ順調	平成29年度に開催した南多摩保健医療圏新型インフルエンザ等対応訓練のノウハウも活かしながら、事前に院内、保健所内でそれぞれ模擬訓練を実施、課題を洗い出し、対応方法を検討したうえで合同訓練を開催した。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を受けて、今後の感染症に関する訓練の方法の再検討(八王子市) ・平時と異なる感染症発生動向が見られ、かつ緊急かつ集中的に対応する必要がある際は、状況に応じて体制を整えていくことが必要である。(町田市) ・災害時避難所運営の中で感染症対策や新型感染症のワクチンの住民接種体制の構築が課題である。(日野市) ・今後は医療機関との連携を含めて、感染症対策対応を強化する。(多摩市) ・今後も各市が連携して、担当職員の知識向上を図るため、陰圧テント設置訓練と防護服着脱訓練を実施する。(稲城市) ・新型コロナウイルス感染症は指定感染症であることから、陽性患者の入院・退院においては軽症者であっても通常の患者より多くの労力と時間が必要であり、医療機関への負担が強い状況が長期化している。 ・限られた医療資源を最大限活用するため、南多摩保健医療圏感染症地域医療体制ブロック協議会等を活用し、適切な役割分担のもと、地域医療連携体制をより一層推進する必要がある。(以上南多摩) 				
達成度(自己評価の平均)	順調	ほぼ順調	やや遅れている	遅れている	見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 2 食品の安全確保	整理番号	17
重点プラン	事業者の自主衛生管理の取組の促進		
指標	食品関係事業者へのHACCPの普及 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶HACCPに関する普及啓発の取組状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 食品関係事業者向けの食品衛生実務講習会でHACCPによる衛生管理について周知 東京都自主管理認証制度取得者に対する補助金の交付を実施 HACCPに関する普及啓発パンフレットを窓口で配布 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期及び秋季開催の食品衛生実務講習会でHACCPによる衛生管理について周知を実施。 菓子製造業者向けのHACCP講習会を書面開催。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 集合形式の講習会だけでなく、ホームページを利用しての周知を図った。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対する計画的な監視指導の実施 事業者向け講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は計5856件の監視を行い、年度後半は施設に応じた手引書抜粋版を手交しHACCPに関する具体的な啓発を行いました。 令和元年度は計36回の講習会を開催し、HACCPに沿った衛生管理について情報提供しました。 	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月以降の講習会や積極的な監視を中止しています。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 施設への監視立入時等にHACCPに関する周知・指導の実施 食品衛生実務講習会において、HACCPに関する講習・チラシの配布 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月、食品衛生法改正により、原則として全ての食品等事業者に対し、HACCPに沿った衛生管理が求められることとなった。(令和3年6月本施行) 都は、小規模な飲食店がHACCPに沿った衛生管理を円滑に導入できるよう、具体的な取組手法を明記した資料を作成した。 当所では、窓口での許可申請時や施設への立入時、講習会において、当該資料の内容や活用方法を説明し、事業者の取組を指導している。 	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> 事業者には十分定着しておらず、本施行に向けもっと積極的な指導が必要である。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 来年6月の本施行までに、さらに周知を行う。新型コロナウイルス感染症により、集合形式の講習会が開催が困難であるので、ホームページ等を有効に利用し、周知を図る。(八王子市) 令和3年6月の本格施行に向けて全施設に普及させる必要がある。郵送によるお知らせ、集合形式以外の講習会の開催、監視による直接指導などをバランスよく実施していく予定。(町田市) 都の事業計画やHACCP検討会の動向を踏まえ、施設への立入時や講習会等において、事業者のHACCPに沿った衛生管理の取組への指導を徹底する。(南多摩)
達成度 (自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 3 医薬品等の安全確保	整理番号	18
重点プラン	健康サポート薬局推進のためのかかりつけ薬剤師・薬局の普及啓発		
指標	健康サポート薬局の普及に向けた支援 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶かかりつけ薬局・薬剤師普及のための支援状況		【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 監視のため薬局へ立入を行った際、健康サポート薬局に対する取組状況を把握。健康サポート薬局に必要な事項を情報提供 薬局を対象とした薬事講習会にて普及啓発 市民を対象とした出前講座にて、かかりつけ薬局・薬剤師について普及啓発 市主催による「長寿を祝う会」において、八王子薬剤師会から、かかりつけ薬剤師を啓発する講演を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> 電話や窓口において、薬局からの健康サポート薬局に関する質問等に対し回答を行った。 薬局に監視で立ち入りを行った際に、健康サポート薬局に対する取組状況を把握し、健康サポート薬局の必要事項を情報提供した。 東京都の依頼に基づき、普及啓発のリーフレットを窓口にて配布を行った。 薬事講習会で講師を招き、薬局に対して普及啓発を行った。 市主催による「長寿を祝う会」において、八王子薬剤師会作成のかかりつけ薬剤師普及啓発パンフレットを配布した。 	ほぼ順調	181施設の薬局に立ち入りを行い、普及啓発を行った。薬事講習会では、参加した261施設の薬局に普及啓発を行った。「長寿を祝う会」での講話の機会はなかったが、パンフレット配布による普及啓発は継続して実施できたため。	
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 市内全医薬品卸販売業者に対し、偽医薬品、不正流通医薬品の防止のための規則の徹底を立入検査等により指導 薬局を対象として、3保健所共催で南多摩保健医療圏薬事講習会を開催 健康サポート薬局を標榜するための要件等に係る相談への対応等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康サポート薬局を標榜するための要件等に係る相談への対応 薬局への立入検査の機会を活用した、健康サポート薬局の周知及び実施基準等への対応状況の確認 薬局を対象とした、3保健所共催での南多摩保健医療圏薬事講習会の開催 市のホームページにおいて、かかりつけ薬局・薬剤師について案内 医療情報冊子「みんなの医療」を発行し、かかりつけ薬局・薬剤師について案内 等 	ほぼ順調	薬局立入件数:65件 南多摩保健医療圏薬事講習会参加薬局件数:99件 医療情報冊子「みんなの医療」発行部数:2000部	
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 個別の事前相談受付(薬局の規模、取扱品目、患者の受付状況等を聞き取りしながら事例を紹介し、届出につながるよう薬局の実情に即した実績づくりの方法を説明) 薬事講習会の開催(健康サポート薬局管理者を講師に、在宅業務の取組方法、健康情報の発信方法、地域薬剤師との連携等) 立入調査時の助言(薬局での立入調査の際に、健康サポート薬局届出に関連するアドバイスや事例紹介を実施) 保健所発行の住民向け健康情報紙に、かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局のメリットと利用方法の記事を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の事前相談受付(薬局の規模、取扱品目、患者の受付状況等を聞き取りしながら事例を紹介し、届出につながるよう薬局の実情に即した実績づくりの方法を説明) 立入調査時の助言(薬局での立入調査の際に、健康サポート薬局届出に関連するアドバイスや事例紹介を実施) 	ほぼ順調	元年度の届出件数は健康サポート薬局ベースライン値と同数である。当初、行政が健康サポート薬局を推進している状況であったが、最近では薬局側が必要性を理解したうえで自主的に対応した結果ととらえることができる。	

指標に係る実績データ

▶健康サポート薬局の届出数及び相談件数		【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)																															
実績値	平成29年度 健康サポート薬局	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>届出数</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八王子市</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>南多摩保健所</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		届出数	相談件数	八王子市	1	4	町田市	7	2	南多摩保健所	6	2	<table border="1"> <caption>令和元年度 健康サポート薬局</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">届出数</th> <th>相談件数</th> </tr> <tr> <th>元年度</th> <th>元年度未累積</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八王子市</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>南多摩保健所</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		届出数		相談件数	元年度	元年度未累積	元年度	八王子市	5	7	4	町田市	14	24	4	南多摩保健所	7	14	2
		届出数	相談件数																															
八王子市	1	4																																
町田市	7	2																																
南多摩保健所	6	2																																
	届出数		相談件数																															
	元年度	元年度未累積	元年度																															
八王子市	5	7	4																															
町田市	14	24	4																															
南多摩保健所	7	14	2																															

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 電話窓口相談、立入時における健康サポート薬局普及啓発の取り組みを継続する。 令和2年度の「長寿を祝う会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催なしとなったため、転入者・希望者に配布している「医療機関ガイド」にかかりつけ薬剤師について掲載することで、普及啓発を実施する予定。(以上八王子市) 取り組みを継続して実施する。(町田市) 健康サポート薬局の届出には薬局の通常業務に加えて、届出に必要な資料を準備する必要がある。かかりつけ薬局の在宅業務では患者宅に行くことから薬局の薬剤師が不在になるため、少人数の薬局では対応が難しい。 2年度保健所発行の住民向け健康情報紙にかかりつけ薬剤師・薬局の記事を掲載予定。薬局からの事前相談等は継続して取り組む。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 4 生活環境衛生対策の推進	整理番号	19
重点プラン	公衆浴場等におけるレジオネラ症予防対策の徹底		
指標	公衆浴場、加温プール等におけるレジオネラ症予防対策 ⇒ 徹底する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶公衆浴場、加温プール施設等におけるレジオネラ症予防対策指導状況			
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度 評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 公衆浴場及び加温プールの全ての施設に立入検査と水質検査を実施 レジオネラが検出された施設に対する改善指導と再検査の実施 プール施設から毎月提出される維持管理状況報告書の確認・指導 プール管理者に対する衛生管理講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆浴場及び加温プールの全ての施設に立入検査と水質検査を実施 レジオネラが検出された施設に対する改善指導と再検査の実施 プール施設から毎月提出される維持管理状況報告書の確認・指導 プール管理者に対する衛生管理講習会の開催 	ほぼ順調 監視指導件数：公衆浴場52件、プール46件 水質検査件数：公衆浴場41件、プール26件 プール衛生管理講習会：参加者数83名
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 公衆浴場及び加温装置を有するプールへの立入検査指導 循環型浴槽等を有する新規社会福祉施設への立入調査及び助言 加温プールのプール維持管理状況報告(月報)の審査・指導 レジオネラ症予防対策講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆浴場及び加温装置を有するプールへの立入検査指導 循環型浴槽等を有する新規社会福祉施設への立入調査及び助言 加温プールのプール維持管理状況報告(月報)の審査・指導 レジオネラ症予防対策講習会の開催(2018年5月30日) 	順調 衛生管理上の改善が必要な施設には、複数回立入検査を繰り返す、文書での指導を行う等の実効性のある指導を行った。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 循環式浴槽を有する公衆浴場及び加温装置を有するプールへの立入検査指導 循環型浴槽等を有する新規社会福祉施設への立入調査及び助言 循環式浴槽を有する公衆浴場及び加温プールの維持管理状況報告(月報)の審査・指導 社会福祉施設における循環型浴槽等及び循環給湯シャワーの自主管理点検票の審査及び助言 レジオネラ症予防対策講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 循環式浴槽を有する公衆浴場及び加温装置を有するプールへの立入検査指導 循環型浴槽等を有する新規社会福祉施設への立入調査及び助言 循環式浴槽を有する公衆浴場及び加温プールの維持管理状況報告(月報)の審査・指導 社会福祉施設における循環型浴槽等及び循環給湯シャワーの自主管理点検票の審査及び助言 レジオネラ症予防対策講習会の開催 	ほぼ順調 ・循環式浴槽等のレジオネラ属菌対策についての施設管理面からの予防措置はある程度図られている。継続的に管理を行っていく意識は形成されてきている。

指標に係る実績データ

▶公衆浴場、加温プール施設に対する立入検査・水質検査実施率					
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)		【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)		
実績	平成29年度 公衆浴場			令和元年度 公衆浴場	
		立入検査実施率(%)	水質検査実施率(%)		立入検査実施率(%)
	八王子市	100.0	100.0	八王子市	100.0
	町田市	100.0	100.0	町田市	100.0
	南多摩保健所	100.0	82.0	南多摩保健所	100.0
	実績	平成29年度 加温プール			令和元年度 加温プール
		立入検査実施率(%)	水質検査実施率(%)		立入検査実施率(%)
八王子市		100.0	100.0	八王子市	100.0
町田市		100.0	100.0	町田市	100.0
南多摩保健所		100.0	100.0	南多摩保健所	95.0

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内公衆浴場及びプールの衛生監視を実施し、営業者へレジオネラ症防止対策を指導する。(八王子市) 自主管理が促進されるよう継続して指導に取り組む。(町田市) 循環式浴槽等のレジオネラ属菌対策は、配管系などのバイオフィルム形成を阻止することが求められる。そのため今後、この視点からの管理についての指導を、さらに充実させていく。(南多摩) 				
達成度(自己評価の平均)	順調	・ ほぼ順調	・ やや遅れている	・ 遅れている	・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 5 アレルギー対策の推進	整理番号	20
重点プラン	アレルギーに関する情報提供及び普及啓発の充実		
指標	アレルギーに関する情報提供及び普及啓発 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶アレルギーに関する普及啓発等の取組状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談の場面でアレルギーに関する相談があった場合、医師又は管理栄養士、保健師等の専門職が対応 ・民間・公立保育所、認証保育所、幼稚園、小規模保育施設等に対し、アレルギー講演会の情報提供実施 ・民間保育所に対し、「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」について周知 ・八王子市医師会協力のもと、教職員、保育関係者等を対象に、食物アレルギーの対応及びエピペンの扱い方の研修会を実施 ・緊急時の適正な対応のため、学校へ、エピペン練習用トレーナー及びDVDの貸出しを実施 ・教員の10年経験者研修において、アレルギー対応の講習を実施 ・栄養士・給食調理研修において、アレルギー対応のグループワーク等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談の場面でアレルギーに関する相談があった場合、医師又は管理栄養士、保健師等の専門職が対応している ・離乳食講習会でアレルギーに関する講話を実施した。 ・八王子市医師会の協力により、教職員及び保育所・幼稚園関係者に対する食物アレルギーの対応及びエピペンの扱い方についての研修会を実施した。 ・緊急時に適正な対応ができることを目的に学校へエピペン練習用トレーナー及びDVDの貸出しを行い、アレルギー対応に関する普及啓発に取り組んだ。 ・国・都から、「アレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が示されているため、改訂等あれば、随時各保育施設に対して周知している。 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談の場面にに加え、離乳食講習会でもアレルギーに関する情報提供を行った。 ・保護者の不安が取り除かれたかどうかを面接後に確認。 ・学校における食物アレルギーに関する普及啓発の取り組みのほか、研修会では本物のエピペンを使用した実習を取り入れた新たな方法に取り組んだ。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー講演会の実施(食物アレルギーやアトピー性皮膚炎の心配がある保護者向け、給食施設職員向けに、アレルギー専門医や小児アレルギーエドゥケーターを講師として実施) ・広報紙等による花粉症予防の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー講演会の実施については、保護者と給食施設職員向けに2回行った。 ・医師の講演及び小児アレルギーエドゥケーターによるスキンケア実演を行った。 ・広報紙等による花粉症予防の情報提供 	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・講師への質疑応答を充実させたことで参加者の食物アレルギーやアトピー性皮膚炎に対する日常の不安や心配を軽減することができた。 ・様々な媒体・手段を用い、花粉症予防の情報発信を行った。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・理容、美容、クリーニング施設の監視時に、東京都アレルギー情報navi開設の紹介リーフレットを配布 ・食品の製造・販売事業者等の監視指導や講習会等において、アレルギー表示の普及啓発 ・飲食店における消費者へのアレルギー情報提供のため、パンフレットを配布 ・子供に関わる施設職員に対するアレルギー講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジオネラ対策講習会等において、花粉症及び室内のアレルゲン対策の資料配布と講習による普及啓発 ・食品の製造・販売施設の立入時や講習会等により、アレルギーの適正表示を指導 ・飲食店におけるアレルギー情報提供のためのパンフレットを講習会等で配布し、普及啓発を実施 ・子ども関係施設向け講習会において、アレルギー予防の観点からの離乳食の進め方について普及啓発を行った。 ・子供に関わる施設職員に対するアレルギー講演会の開催 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ花粉症や室内からのアレルギー原因物質についての情報提供を講習会を通じた監視時などで行い普及啓発を行った。 ・食品の製造・販売事業者等におけるアレルギーの適正表示の取組については、ほぼ完遂している。 ・飲食店における消費者へのアレルギー情報の提供について、食品衛生講習会等において普及啓発を実施している。 ・「授乳・離乳の支援ガイド」改定のタイミングに合わせて、講習会を開催した。 ・研修を実施するだけでなく、研修参加者が施設内でリーダーとなって他の職員に伝達し、訓練ができるように物品の貸し出し体制も整備した。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談の場面でアレルギーに関する相談を継続実施する ・離乳食講習会(現在、コロナ感染予防対策で教室ではなく個別開催)等でアレルギーに関する情報提供を行っていく ・相談を受けた後の保護者の満足度。 ・学校における食物アレルギー症状の発生状況や緊急時対応マニュアルの使い方・記録方法などについて普及啓発をさらに充実させる。(以上八王子市) ・アレルギー講演会については、SNS等を活用した情報提供を実施 ・花粉症予防の情報提供は継続して実施する。(以上町田市) ・引き続き、環境衛生のなかでのアレルギーなどの情報提供を行い、アレルギー対策の普及を推進していく。 ・引き続き、施設への立入時や講習会等により、アレルギーの適正表示の指導や、飲食店における取組についての普及啓発を推進する。 ・今後も最新の知見が得られたり、指針改定等が行われた際には、講習会等を通じて普及啓発を行う。 ・保育園や幼稚園職員だけでなく、学童保育クラブや児童館など学齢期であっても飲食を伴う機会の多い施設を対象に研修を充実させる必要がある。開催時期については、夏季休暇を避けて実施する。(以上南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 6 感染症の予防と対応	整理番号	21
重点プラン	結核の感染拡大防止のための早期発見と治療終了支援		
指標	患者の背景に応じたDOTSの実施 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況/達成度・評価の視点

▶服薬完了に向けた支援の取組状況

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面接にて治療の必要性について説明し、担当がリスクアセスメントを実施 ・外国人の場合、必要時シェアを依頼。日本語学校学生の場合は学校でのDOTSを実施 ・要支援者の場合、訪問や同行受診等で状況を把握。入所施設や医療機関等と連携して継続的なDOTSを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面接にて治療の必要性について説明し、担当がリスクアセスメントを実施。DOTS方法を患者と検討し、DOTSが継続的にできるよう支援。 ・外国人の場合、必要時シェアを依頼。日本語学校学生の場合は学校でのDOTSを実施。 ・要支援者の場合、訪問や同行受診等で状況を把握。入所施設や医療機関等と連携して継続的なDOTSを実施。 ・市内の全日本語学校を集めた説明会を開催し、発病者の支援や学校DOTSについての情報提供を実施。 	ほぼ順調	関係機関と連携し、患者の背景に応じた支援を行っている。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所者に関しては、施設スタッフに結核の説明をし、DOTSを依頼 ・外国人の場合は、DOTSノートを写真に撮りメールに添付してもらう方法で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、服薬支援者(家族、病院スタッフ、施設スタッフ)へ結核について、DOTSの必要性と保健所の役割を丁寧に説明したうえで依頼 	順調	結核治療に必要な内服支援が継続して行えるように様々な方法で支援することができた。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・発生届受理後、可能な限り来所又は訪問で本人又は家族と面接し、確実に服薬できるよう説明、服薬方法を確認し支援 ・DOTS検討会において、個別の状況に応じた支援方法を検討 ・DOTS支援看護師等と情報共有に努め、支援方針の確認を行いながら、療養支援を徹底 ・適切な時期に医療機関との連絡を行い、菌情報の把握のほか、連絡の取れない患者の状況把握を実施 ・高齢者や外国人の発生が多い現状から、介護関係者や日本語学校関係者等との連携を実施 ・外国人医療服薬支援員制度を活用し、外国人の療養支援を実施 ・支援が継続できるよう、転入者については、できる限り転入前の状況を確認 ・DOTS検討会の実施(月2回定例) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発生届受理後、可能な限り来所又は訪問で本人又は家族と面接し、確実に服薬できるよう説明、服薬方法を確認し支援 ・DOTS検討会において、個別の状況に応じた支援方法を検討 ・DOTS支援看護師等と情報共有に努め、支援方針の確認を行いながら、療養支援を徹底 ・適切な時期に医療機関との連絡を行い、菌情報の把握のほか、連絡の取れない患者の状況把握を実施 ・高齢者や外国人の発生が多い現状から、介護関係者や日本語学校関係者等との連携を実施 ・外国人医療服薬支援員制度を活用し、外国人の療養支援を実施 ・支援が継続できるよう、転入者については、できる限り転入前の状況を確認 ・DOTS検討会の実施(月2回定例) 	ほぼ順調	医療機関を含め、各関係機関と連携し、感染拡大防止のための早期発見と治療終了支援を行った。

指標に係る実績データ

▶DOTS治療完了率

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)
実績値	平成29年度 DOTS治療完了率(%)	
	八王子市	95.1
	町田市	95.5
	南多摩保健所	97.2
	令和元年度 DOTS治療完了率(%)	
	八王子市	100
	町田市	100
	南多摩保健所	97.6

課題・今後の方針/圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市では新規登録者における外国人割合が高いことから、日本語学校就学生への支援を充実させ、市内の新規参入の日本語学校とも連携していく。(八王子市) ・本人、服薬支援者(家族、病院スタッフ、施設スタッフ)との連携を図り、内服が継続できるように支援していく。(町田市) ・高齢者や外国人・若年者の結核発生時等は、個人の状況に応じた療養支援が必要であり、早期に状況を把握し、適切な支援を実施する。(南多摩) 				
達成度(自己評価の平均)	順調	ほぼ順調	やや遅れている	遅れている	見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 7 災害対策・救急医療の充実	整理番号	22
重点プラン	災害医療連携体制の充実		
指標	災害対策訓練・研修会等を通じた災害医療連携体制の確保 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 八王子市総合防災訓練の実施(町会、自治会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、助産師会等参加) 緊急医療救護所設置及び運営訓練の実施 出前講座等で家具等の転倒、落下、移動防止や窓ガラスの飛散防止対策を周知 市総合防災訓練において、市民向けの防災講演会を開催し、災害時の医療救護活動体制の啓発を実施 医療連携体制強化のための取組 各医療機関が実施した防災訓練への参加や通信訓練等の合同実施 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 緊急医療救護所設置・運営訓練の実施(令和元年度、5か所) 例年実施している八王子市総合防災訓練(町会、自治会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、助産師会等参加)は令和元年東日本台風のため、中止とした。 出前講座等で家具等の転倒、落下、移動防止等を周知。 医療連携体制強化のための取組 南多摩医療圏通信訓練参加(令和元年度、2回) 	ほぼ順調	<p>緊急医療救護所設置・運営訓練は救護所隣接病院との共催でこれまで実施してきたが、後方が医療機関でない救急救命東京研修所においてはじめて、市単独主催で訓練を実施した。</p> <p>八王子市総合防災訓練については令和元年東日本台風の影響で中止となってしまったが、出前講座では周知啓発等を行った。</p>
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 関係機関と連携した医療救護活動訓練(総合防災訓練)の実施 EMIS訓練、圏域通信訓練の実施 医療連携体制強化のための取組 町田市災害医療関係者連絡会の実施 圏域図上訓練への参加 圏域地域災害医療連携会議、圏域災害医療調整部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 EMIS訓練、圏域通信訓練の実施 医療連携体制強化のための取組 町田市災害医療関係者連絡会の実施 町田市薬剤師会と医薬品備蓄に関する委託契約を締結 圏域地域災害医療連携会議、圏域災害医療調整部会への参加 	順調	<p>災害医療関係者連絡会を重ね、緊急医療救護所の医薬品備蓄について町田市薬剤師会と委託契約を締結し、一定の医薬品が確保する体制ができた。</p>
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 災害医療訓練の実施(29年度初の取組:緊急医療救護所立ち上げ訓練(Tent等の機材を購入)、トリアージ訓練(企業・大学生ボランティア・日野市立病院近隣自治会・患者会の協力)、通信訓練(市内災害支援病院等が参加)) 医療連携体制強化のための取組 圏域通信訓練、圏域図上訓練への参加 EMIS訓練への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 災害医療通信訓練の実施(元年度の取組:日野市医師会と関係機関で通信訓練を実施した) 医療連携体制強化のための取組 南多摩保健所主催の避難所アセスメント訓練へ参加した 南多摩医療圏の避難所アセスメント訓練へ参加した 南多摩医療圏のEMIS訓練へ参加した 	順調	<p>様々な訓練、研修に参加し、関係機関の医療連携体制の確認等に取り組んだ。</p>
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 医師会主催の医療系防災訓練を、市内の緊急医療救護所にて実施(緊急医療救護所におけるトリアージ、災害対策本部との通信確認) 医療連携体制強化のための取組 圏域通信訓練への参加 圏域災害医療調整部会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 医師会、市内病院、医療系の学校等と連携し、緊急医療救護所設置訓練を実施 医療連携体制強化のための取組 圏域通信訓練、災害医療調整部会等への参加 圏域で実施する避難所アセスメント研修への協力・参加 	順調	<p>医師会、市内病院等とワーキンググループを編成し、月1回程度会議を実施して通信手段の研究や訓練内容に関する打合せを実施するなど、災害医療に関して進展を図ることができた。また、圏域で実施した避難所アセスメント研修へ積極的に協力するなど、圏域での災害医療体制の整備に努めた。</p>
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 稲城市防災訓練において、中学校の保健室を医療救護所として、救護所運営訓練を実施 医療連携体制強化のための取組 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、市職員で構成する稲城市災害医療連携会議及び災害医療連携会議調整部会を開催 圏域通信訓練、圏域図上訓練への参加 圏域災害医療連携会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 稲城市防災訓練において、トリアージ体験を含めた普及啓発を実施 医療連携体制強化のための取組 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、市職員で構成する稲城市災害医療連携会議及び災害医療連携会議調整部会を開催 圏域通信訓練、圏域図上訓練への参加 圏域災害医療連携会議への参加 	ほぼ順調	<p>発災時の医療提供における協力団体との連携強化の推進が図られている。</p>
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 災害時歯科保健医療をテーマとして、歯科衛生士を対象に人材育成研修を実施 災害時の保健活動と受援の在り方をテーマとして、圏域の市職員等を対象に市町村支援研修を実施 医療連携体制強化のための取組 圏域通信訓練への参加 圏域地域災害医療連絡会議(地域災害医療協議会)への参加 多摩市医療系防災訓練への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した医療救護活動訓練、通信訓練、各種研修会等の実施状況 多摩市EMIS訓練および多摩市医療系防災訓練へ参加 災害時の避難所における保健活動について、圏域市職員を対象に研修を企画(新型コロナウイルスのため中止) 医療連携体制強化のための取組 圏域通信訓練への参加(H30年度から) 圏域地域災害医療連絡会議(地域災害医療協議会)への参加 多摩市医療系防災訓練への参加(H25年度から) 南多摩保健医療圏令和元年度台風災害事後検討会への参加(新規) 令和元年度避難所等アセスメント講習会への参加(新規) EMIS訓練の実施(H29年度から) 南多摩医療圏災害医療ボランティア研修会(新規) 南多摩医療圏BLSOコース(新規) 南多摩医療圏災害医療ボランティア研修会(H30年度から) 	順調	<p>ベースライン値よりもさらに圏域内の災害時医療連携が充実してきている。</p>

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年どおりの救護所訓練が実施できない。 感染防止対策をとりながら、少人数での実施など、訓練形態を検討しながら、災害時医療体制の構築を進めていく。 関係機関と連携した八王子市総合防災訓練は今後も実施していく予定。出前講座についても普及啓発に取り組んでいく。(以上八王子市) 医薬品備蓄について町田市医師会とも協議を重ね、医薬品の充実を図る。(町田市) 災害時の医療機関、関連機関との連絡体制図、タイムラインなどの構築に取り組む。(感染症対策を前提とした体制の整備を検討する)(日野市) 新型コロナウイルス環境下において、訓練の実施が難しい状況にあるため、取り組みが停滞しているところである。今後は、訓練以外の面での研究や体制の整備を進めるなど、引き続き災害医療体制の充実を図る。(多摩市) 引き続き、各師会等の協力団体と顔の見える関係づくりを深め、連携推進に向けて取り組む。(稲城市) 訓練への参加・協力を引き続き行い、更なる推進を行いたい。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第2章 8 医療安全対策の推進	整理番号	23
重点プラン	医療安全支援のための取組の推進		
指標	研修会、講習会等における情報共有 ⇒ 推進する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

▶研修会、講習会等における住民、医療機関等との情報共有状況				
	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全研修会の実施(医療関係従事者を対象) 医療安全講座の実施(一般市民を対象) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事関係者向け研修会を開催(テーマ「感染対策・抗菌薬適正使用」、参加者87名) 	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン時点と同程度の取組を行っているため。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 町田市医療安全支援センター研修会の実施(医療機関の医療関係者を対象) 	<ul style="list-style-type: none"> 町田市医療安全支援センター研修会の実施(医療機関の医療関係者を対象) 広報誌に、住民向けの医療安全の記事を掲載。 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続して行っている。 広報誌を活用し、普及啓発を行った。
南多摩保健所	<ul style="list-style-type: none"> 患者相談窓口担当者研修会・連絡会の実施 医療安全推進担当者連絡会の実施 医療安全推進担当者研修会の実施 住民向け講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 患者相談窓口担当者研修会・連絡会の実施 医療安全推進担当者連絡会の実施 医療安全推進担当者研修会の実施 住民向け講習会の実施 関係機関等への「患者の声相談窓口」相談内容の還元 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 研修会、講習会等における住民、医療機関等との情報共有状況

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全講座(一般市民対象)については、令和2年度(2020年度)から歯科保健分野で実施している。(八王子市) コロナ下において、どのように研修会・講習会を行うか、新たな手法も考慮に入れて実施方法を検討する。(町田市) 研修会、連絡会のオンラインでの実施を検討する。(南多摩)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要

南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン 事業実施状況【中間評価】

項目	第3章 1 人材育成研修等の充実	整理番号	24
重点プラン	在宅療養を支える人材育成の充実		
指標	医療・介護関係者への研修 ⇒ 充実する		

指標に係る取組状況／達成度・評価の視点

	【ベースライン値】平成30年3月31日現在(29年度)	【中間評価】令和2年3月31日現在(元年度)	達成度	評価の視点
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> 医療及び介護関係者等向け多職種研修会を実施(年1回) テーマ「地域における在宅医療・介護連携」等 医療・介護連携に関するカリキュラムを設定し、介護支援専門員研修を実施(年3回) テーマ「特に主治医との連携について」「難病の制度と保健所との連携」「難病について」等 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携研修会の実施(年1回) 実施日:令和2年1月25日 参加者:医師、歯科医師、薬剤師、病院相談員、介護支援専門員、訪問看護ステーション・PT、民生委員、包括支援センター、市 テーマ:アドバンス・ケア・プランニング(ACP)「人生会議」の必要性 医療・介護連携に関するカリキュラムを設定し、介護支援専門員研修を実施(年4回) テーマ「医療・介護の一体的な提供に必要な医療知識及び医療機関との連携手法の習得」「ACPの基礎知識」「【食】いつまでも美味しく食べるには」「重度化予防について」等 	ほぼ順調	同じ地域に関わる多職種でグループワークを行うことで、地域内の連携や関係性の構築を進めることができた。意思決定支援や新たな考え方を踏まえ、有効なテーマを選定して実施した。
町田市	<ul style="list-style-type: none"> 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの一環として、市と医師会が中心となり、研修会を計2回実施 専門職向け多職種研修会(年1回) テーマ「高齢者の自動車運転」 市民向け研修会(年1回) テーマ「～住み慣れたわが家で自分らしく生きたい～みんなで支える在宅療養」 	<ul style="list-style-type: none"> 難病講演会 テーマ:ALS患者と家族を支える人のための講演会交流会 対象:市内ALS患者家族及び地域支援者 開催日時:2019年10月31日 参加人数:67名 	順調	地域支援者が在宅難病患者に係る療養生活の実際を理解し、地域生活支援の充実に向けて取り組んだ
日野市	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の顔の見える関係を構築するため「医療と介護の連携推進勉強会」を開催 第1段階「顔の見える関係づくり」(年2回):他職種との連携状況を確認するグループワーク 第2段階「ステップアップ」(年2回):テーマ「多職種で支える末期がん患者の看取り」「多職種協働による認知症支援」地域包括支援センターが、様々なテーマで開催(年16回) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の顔の見える関係を構築するため「医療と介護の連携推進勉強会」を開催 第1段階:1回開催(2019.7.12) 第2段階:2回開催(2019.9.20、2019.12.20、2020.3.13も開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を予防するため中止。地域包括支援センターが、様々なテーマで勉強会を開催した。(年41回開催) 	順調	勉強会を継続的に開催し、顔の見える関係になり、多職種の連携を促進する事ができた。
多摩市	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護関係者の研修を実施(年5回) テーマ「在宅医療推進のための地域における多職種連携」「退院患者さんがよりよい終末期を送るために必要なこと」等 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護関係者の研修を実施(年3回) ①第1回医療・介護関係者研修(令和1年6月30日)テーマ「多職種でのグループディスカッション」 ②第2回医療・介護関係者研修(令和1年12月18日)テーマ「ACPを知ろう」 ③第3回医療・介護関係者研修(令和2年2月13日)テーマ「MCSを知ろう」 	順調	研修への参加人数や初回参加者の人数等の推移を見ながら、医療・介護関係者の顔の見える関係づくりに寄与できているかを検証していく。
稲城市	<ul style="list-style-type: none"> 研修会(年2回) テーマ「医療と介護の連携推進のために」「“老健”と“特養”を知る」 多職種連携研修会(年1回) 参加者(専門職)が業務内容を説明及びグループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会(年2回) テーマ「ゆたかな人生を支えるエンドオブライフケアとACP」「摂食嚥下と栄養について」 多職種連携研修会(年1回) ACPについての講義、職種紹介及び、グループワーク 	ほぼ順調	参加者多数。研修の機会として有効な場となっている。新入職員の参加が少ないのが課題。

課題・今後の方針／圏域の達成度(自己評価の平均)

課題・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携研修会については、対象地域を毎年度変えつつ順に実施し、定期的に研修会が回ってくるよう実施することで、地域内の連携促進につなげる。 医療と介護の連携を強化し、在宅医療を支える人材育成することで、高齢者が地域で安心して在宅生活を送れるよう支援する。(八王子市) 専門職同士の「顔の見える関係づくり」や多職種がより良いサービスを提供できる体制づくり目指し、勉強会を開催する。(新型コロナウイルス感染症を前提として新しい生活様式の中での勉強会の開催方法の検討(オンライン開催など)(日野市) より多くの参加者(初回参加者を含む)を確保するため、研修テーマや研修の場所・時間等を検討しながら実施する。 感染症リスクを踏まえた開催方法等について、検討しながら実施する必要がある。(以上多摩市) 今度も在宅医療・介護を支える人材を育成すべく、専門職向けの研修や多職種研究会を開催する。(稲城市)
達成度(自己評価の平均)	順調 ・ ほぼ順調 ・ やや遅れている ・ 遅れている ・ 見直しが必要